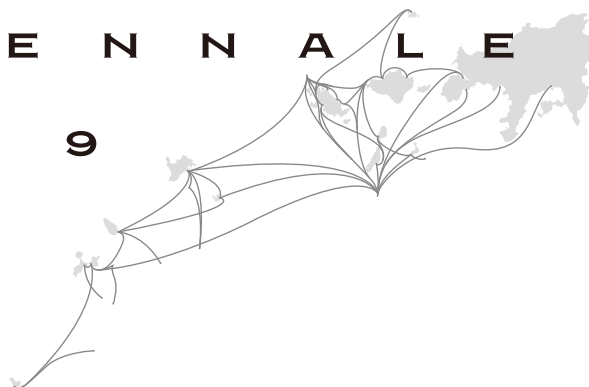


瀬戸内国際芸術祭2019

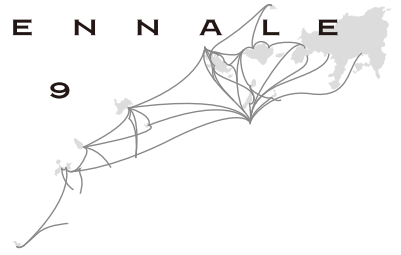
Setouchi Triennale 2019

総括報告

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 1 9



S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 1 9



總括報告

瀬戸内国際芸術祭2019

Setouchi Triennale 2019

| 総括報告 | 目次 |

01 概況	03
02 開催概要	04
03 来場者数	06
04 会場図	08
05 沿革	09
06 メインビジュアル	10
07 重点プロジェクト、新しい取組み	11
08 アートプロジェクト・イベント	16
09 交通の整備	24
10 来場者対応	25
11 オフィシャルツアー、カスタマイズツアー	26
12 ボランティアサポーターの活動	27
13 広報	29
14 視察の受入れ	36
15 チケット、グッズ	37
16 地域への波及、連携	38
17 来場者アンケート	44
18 地域住民の評価	48
19 芸術祭開催による効果	54
20 芸術祭 2019 の収支状況 (3 カ年)	56

01 概況

瀬戸内国際芸術祭2019は、これまでの芸術祭に引き続き、「海の復権」をテーマに、瀬戸内海の12の島々（直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島）と2つの港（高松港、宇野港）周辺を舞台に、春、夏、秋の3会期、計107日間開催した。

世界32の国と地域から230組のアーティストが参加し、瀬戸内の資源に焦点を当てた作品や、体験型の作品を展開したほか、アジアの各地域と瀬戸内の島々との連携プロジェクト、島の「食」を味わう食プロジェクト、パフォーマンスアーツの多様な展開に重点的に取り組んだ。

また、高松港周辺の北浜や屋島（四国民家博物館）、小豆島の四海地区を新たに会場エリアに加え、作品展開を行ったほか、オフィシャルツアー、SETOUCHI企業フォーラム、SETOUCHI ART BOOK FAIRなどの新たな取組みや、会場である島の住民のネットワークを構築する「島間交流事業」、教育委員会や学校と連携した「学校連携事業」などにも取り組んだ。

総来場者数については、今回初めてゴールデンウィークを会期に含んだこともあり、3会期合わせて約118万人と過去最多となった。今回の特徴として、外国からの来場者の割合が約23%と前回から約10ポイント伸びており、海外の主要なメディアにも取り上げられたことや高松空港の国際線ネットワークが充実したことなどが要因として考えられる。また個別には、今回初めて、高松－大島間が一般旅客定期航路としての運航を開始したことで、大島への来場者が大きく増加した。

芸術祭を支えるボランティアサポーター「こえび隊」には、引き続き多くの方が作品制作の補助や作品受付などに参加した。また、作品受付に参加したサポーター延べ人数の3割以上が海外からとなっており、アジア諸国を中心に世界各地へ芸術祭の取組みが認知されていることが伺える。

会場の島々では、アーティストとの協働による作品の制作や受付、地域の特徴を生かした食の提供やおもてなしのほか、港での島を挙げての温かい出迎え、見送りなどに地域の方が大勢参加し、一緒になって芸術祭を作り上げ、盛り上げていただいた。地域の活性化や再生につながるこうした取組みが着実に根づいてきている。

02 開催概要

会 期 春(ふれあう春)：2019年4月26日(金)～5月26日(日)31日間
夏(あつまる夏)：2019年7月19日(金)～8月25日(日)38日間
秋(ひろがる秋)：2019年9月28日(土)～11月4日(月)38日間
計107日間

会 場 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島(春)、
本島(秋)、高見島(秋)、粟島(秋)、伊吹島(秋)、
高松港周辺、宇野港周辺

参加作家 32の国と地域から230組 214作品、35イベント

主 催 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長 : 浜田恵造(香川県知事)
名誉会長 : 真鍋武紀(前香川県知事)
副会長 : 泉雅文(香川県商工会議所連合会会長)
// : 大西秀人(高松市長)
顧問 : 梅原利之(四国旅客鉄道株式会社顧問)
総合プロデューサー : 福武總一郎(公益財団法人福武財団理事長)
総合ディレクター : 北川フラム(アートディレクター)

アドバイザーボード委員 : 榎木野衣(多摩美術大学教授)
// : 鷲田めるろ(キュレーター)

構成団体(48団体)：香川県、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、三豊市、土庄町、小豆島町、直島町、多度津町、玉野市、公益財団法人福武財団、公益財団法人福武教育文化振興財団、香川県市長会、香川県町村会、四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局、中国四国地方環境事務所四国事務所、国立療養所大島青松園、四国経済連合会、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、一般社団法人香川経済同友会、香川県農業協同組合、香川県漁業協同組合連合会、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、香川県文化協会、公益財団法人四国民家博物館、公益社団法人香川県観光協会、一般社団法人日本旅行業協会中国四国支部香川地区委員会、公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー、香川県ホテル旅館生活衛生同業組合、四国旅客鉄道株式会社、高松琴平電気鉄道株式会社、香川県旅客船協会、一般社団法人香川県バス協会、香川県タクシー協同組合、公益財団法人香川県老人クラブ連合会、香川県婦人団体連絡協議会、公益社団法人日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会、香川県青年団体協議会、さめき瀬戸塾、株式会社百十四銀行(監事)、株式会社香川銀行(監事)

オブザーバー(3団体)：岡山市、岡山県商工会議所連合会、岡山大学

助 成 文化庁 | 公益財団法人福武財団 | 中華民国文化部 | オランダ大使館 | オーストラリア大使館 | アンステイチュ・フランセ | オーストラリア・カウンシル | ドイツ文化センター | モンドリアン財団 | 香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部 | 独立行政法人国際交流基金アジアセンター | 一般社団法人四国クリエイティブ協会

パートナー アサヒビール株式会社・アサヒグループホールディングス株式会社 | 鹿島建設株式会社 | カトーレック株式会社 | 株式会社JTB | 日本郵便株式会社 | ビー・エム・ダブリュー株式会社 | 公益財団法人福武財団 | 株式会社ベネッセホールディングス | 株式会社レクザム

協賛 (267団体) :イオンリテール株式会社 | 四国旅客鉄道株式会社 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 日本たばこ産業株式会社 | 野村證券株式会社 | 株式会社ビームス | 三井不動産株式会社 | 両備グループ | 高松空港株式会社 | 株式会社アミューズ | 株式会社マルナカ | 岡山電気軌道株式会社 | 大日本印刷株式会社 | 花王株式会社 | カサイホールディングス株式会社 | 株式会社七宝 | 大和証券株式会社 | ハヤカワ電線工業株式会社 | 株式会社ビーバーホームズ | 株式会社百十四銀行 | ユウ・ティ・イー株式会社 | ことでんバス株式会社 | イソップ・ジャパン株式会社 | 高松琴平電気鉄道株式会社 | 全日本空輸株式会社高松支店 | 日本航空株式会社高松支店 | アオイ電子株式会社 | 有限会社アキヤマ自販 | アセッターズ株式会社 | アニエスベージャパン株式会社 | 株式会社NTTドコモ | 株式会社大本組 | オリエンタルモーター株式会社高松事業所 | 株式会社香川銀行 | 香川県信用金庫協会 | 香川県信用組合 | 香川証券株式会社 | かどや製油株式会社 | 木下製粉株式会社 | 株式会社ぐるなび | 株式会社サムソン | 株式会社三光エンジニアリング | 四国化成工業株式会社 | 四国電力株式会社 | 株式会社資生堂 | 株式会社高島屋 | 帝國製菓株式会社 | 東洋アルミニウム株式会社 | 公益財団法人南海育英会 | 株式会社日本総陝 | 株式会社博報堂 | 一般財団法人阪大微生物病研究会 | 本州四国連絡高速道路株式会社 | 公益財団法人松平公益会 | 森ビル株式会社 | 株式会社合田工務店 | 株式会社クレディセゾン中四国支社 | A I G L E | 株式会社菅組 | ホッピービバレッジ株式会社 | イオンモール岡山 | 株式会社東京美術 | 株式会社IH | 四国支社 | 株式会社アムロン | 株式会社石垣 | 有限会社井上誠耕園 | 大紀商事株式会社 | 大倉工業株式会社 | 株式会社大林組 | 岡山ガス株式会社 | 株式会社Ongakushitsu | 一般社団法人香川県建設業協会 | 香川県建設業協会高松支部 | 香川県農業協同組合 | 香川県農業協同組合中央会・各連合会 | 香川県ホテル旅館生活衛生同業組合 | 株式会社クボタ | クボタ環境サービス株式会社 | 株式会社クリエアナプキ | クレディスイス証券株式会社 | 株式会社グループ | 研精堂印刷株式会社 | 株式会社建設マネジメント四国 | 株式会社廣榮堂 | 神島化学工業株式会社 | 琴平バス株式会社 | 株式会社ジップ | 清水建設株式会社 | 一般財団法人小豆島オリーブ公園 | 小豆島交通株式会社 | 一般財団法人小豆島ふるさと村 | 新日本印刷株式会社 | 瀬戸内温泉たまの湯 | 総合警備保障株式会社 | 台湾三三企業交流会 | 高松辛酸株式会社 | 株式会社タクテック | 谷口建設興業株式会社 | TARA JAPAN | 株式会社中国銀行 | 株式会社電通 | 株式会社トカイ | 凸版印刷株式会社 | 株式会社トヨタレンタリース岡山 | 中庭住宅株式会社 | 株式会社西崎組 | 二十四の瞳映画村 | 日宝総合製本株式会社 | 日本通運株式会社 | 日本アジアグループ株式会社 | ばいこう堂株式会社 | ピープルソフトウェア株式会社 | 株式会社福本ボデー | 富士通株式会社 | 株式会社マキタ | 松谷化学工業株式会社 | 株式会社マルヨシセンター | 株式会社三井住友銀行 | 三井物産株式会社四国支店 | 三菱電機株式会社 | 株式会社ムレコミュニケーションズ | レンフロ・ジャパン株式会社 | 四国団扇株式会社 | 大和板紙株式会社 | 株式会社ビザビ | アイブリックス株式会社 | 株式会社STNet | 岡山放送株式会社 | 香川県漁業協同組合連合会 | 小竹興業株式会社 | 株式会社日栄建設 | 株式会社フューチャー・デザイン・ラボ | 勇心酒造株式会社 | 葵機工株式会社 | NTT西日本 香川支店 | 株式会社オーキッド | 株式会社岡山京橋クルーズ | 株式会社おもちゃ王国 | 一般社団法人香川県トラック協会 | 鎌田商事株式会社 | 鎌田醤油株式会社 | 株式会社北四国グラビア印刷 | 協和化学工業株式会社 | 株式会社Coaマネジメント | コーホク印刷株式会社 | コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 | 後藤設備工業株式会社 | 株式会社サニーエイト | さめぎ丸一製麺株式会社 | 株式会社ジェイテクト香川工場 | 小豆島醤油協同組合 | 小豆島調理食品工業協同組合 | 株式会社塵芥センター | 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 | 第一生命保険株式会社 | ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル | 株式会社デンショク | 株式会社東京スター銀行 | 株式会社トロンマネージメント | フジガード株式会社 | 株式会社松本光春商店 | レオリゾート | 和田精密歯研株式会社 | 四電エンジニアリング株式会社 | 四電ビジネス株式会社 | eBASE株式会社 | 高松商運株式会社 | 株式会社天満屋岡山本店 | 有限会社エイファーマ | おかやま信用金庫 | 香川県建設業協会小豆支部 | 香川県建設業協会西讃支部 | 香川県建設業協会中讃支部 | 香川県建設業協会長尾支部 | 香川県舗装協会 | 株式会社木村建設 | 株式会社香西鉄工所 | 三聖建設株式会社 | 一般社団法人四国クリエイティブ協会 | 株式会社七星食品 | シンボルタワー開発株式会社 | セーラー広告株式会社 | 株式会社総合開発 | 大同ゴム株式会社 | 株式会社高岸工務店 | 高松クワニスクラブ | 宝田電産株式会社 | 株式会社田中建設 | 中央開発株式会社 | 中国電力株式会社岡山支社 | ツリーハウス株式会社 | 株式会社ティアラ | 有限会社手ぬぐい工房ポスター堂 | 株式会社トヨタレンタリース東四国 | 株式会社フードテック | 富士建設株式会社 | 富士産業株式会社 | 株式会社プロエンザイム | 丸八商工株式会社 | 三豊運送株式会社 | 株式会社社名物かまど | 有限会社エイトヒルズ・コーポレーション | 岡山プラザホテル株式会社 | 株式会社ビッグ・エス | 株式会社猪熊組 | 阿波製紙株式会社 | 石丸製麺株式会社 | 内海フェリー株式会社 | ANAクラウンプラザホテル岡山 | 株式会社ADF・アヤベ | 株式会社旺建 | 岡山トヨタ自動車株式会社 | 香川県タクシー協同組合 | 一般社団法人香川県バス協会 | 香川県旅客船協会 | 有限会社川北縫製 | 川田工業株式会社四国工場 | 株式会社きんでん四国支社 | 株式会社グリーンフィールドグラブ | 株式会社香西工務店 | 堺屋醤油株式会社 | 株式会社サピエント | 株式会社CO2資源化研究所 | 株式会社ジェイアール四国企画 | 株式会社JR四国ホテルズ | 四国オーエム株式会社 | 株式会社四国総合研究所 | 四国塗装工業株式会社 | 四国特機株式会社 | 手芸センタードリーム | 小豆島国際ホテル | 有限会社住まいる工房 | セキ株式会社 | 大和ハウス工業株式会社香川支店 | テーブルマーク株式会社 | 東洋オリーブ株式会社 | 東洋工業株式会社 | 徳寿工業株式会社 | dot. | 豊田通商株式会社 | 株式会社長峰製作所 | 株式会社成豊堂 | 西日本ビル管理株式会社 | 日生化学株式会社 | 日本生命保険相互会社 | ハウス美装工業株式会社 | ビジネスホテルプリンス | 平井法律事務所 | フジ観光プラットフォーム株式会社 | 株式会社富士クリーン | 株式会社藤田工務店 | 株式会社FUJIDAN | 株式会社伏見製菓所 | 株式会社フジワラテクノアート | ベイリゾートホテル小豆島 | 丸善工業株式会社 | 株式会社宮地サルベージ | 矢崎総業四国販売株式会社 | 株式会社ユーミック | 吉原食糧株式会社 | 株式会社ライブインベーション | 株式会社ルーヴ | 税理士法人六条 | ワンナワードライ東宝ほか

03 来場者数

■ 来場者数は、春会期が386,909人、夏会期が318,919人、秋会期が472,656人で、総来場者数は1,178,484人となった。

会場別来場者数

会場名	芸術祭2019の来場者数(107日間※)				芸術祭2016の 来場者数 (108日間)
	春会期	夏会期	秋会期	計	
直島	96,699	96,199	110,880	303,778	257,586
豊島	39,780	45,842	57,751	143,373	154,713
女木島	25,698	23,880	30,429	80,007	49,276
男木島	22,967	21,908	26,934	71,809	54,232
小豆島	56,766	59,913	69,419	186,098	155,546
大島	3,040	4,322	5,515	12,877	5,104
犬島	19,132	17,074	22,501	58,707	60,212
沙弥島	72,459	—	—	72,459	58,766
本島	—	—	27,469	27,469	21,802
高見島	—	—	25,198	25,198	21,028
粟島	—	—	29,561	29,561	23,668
伊吹島	—	—	18,622	18,622	16,756
高松港周辺	38,964	32,475	29,897	101,336	122,555
宇野港周辺	11,404	17,306	18,480	47,190	38,806
合計	386,909	318,919	472,656	1,178,484	1,040,050

※台風(8月15日 全施設休館。10月12日 一部施設休館)、その他の悪天候による影響や設備のメンテナンス等により、臨時休館した日も含まれている。

【来場者数のカウントについて】

瀬戸内国際芸術祭は、各会場に作品が分散しており、屋外展示作品もあることから、芸術祭のために訪れた実人数やすべての作品ごとの来場者数を把握することができない。

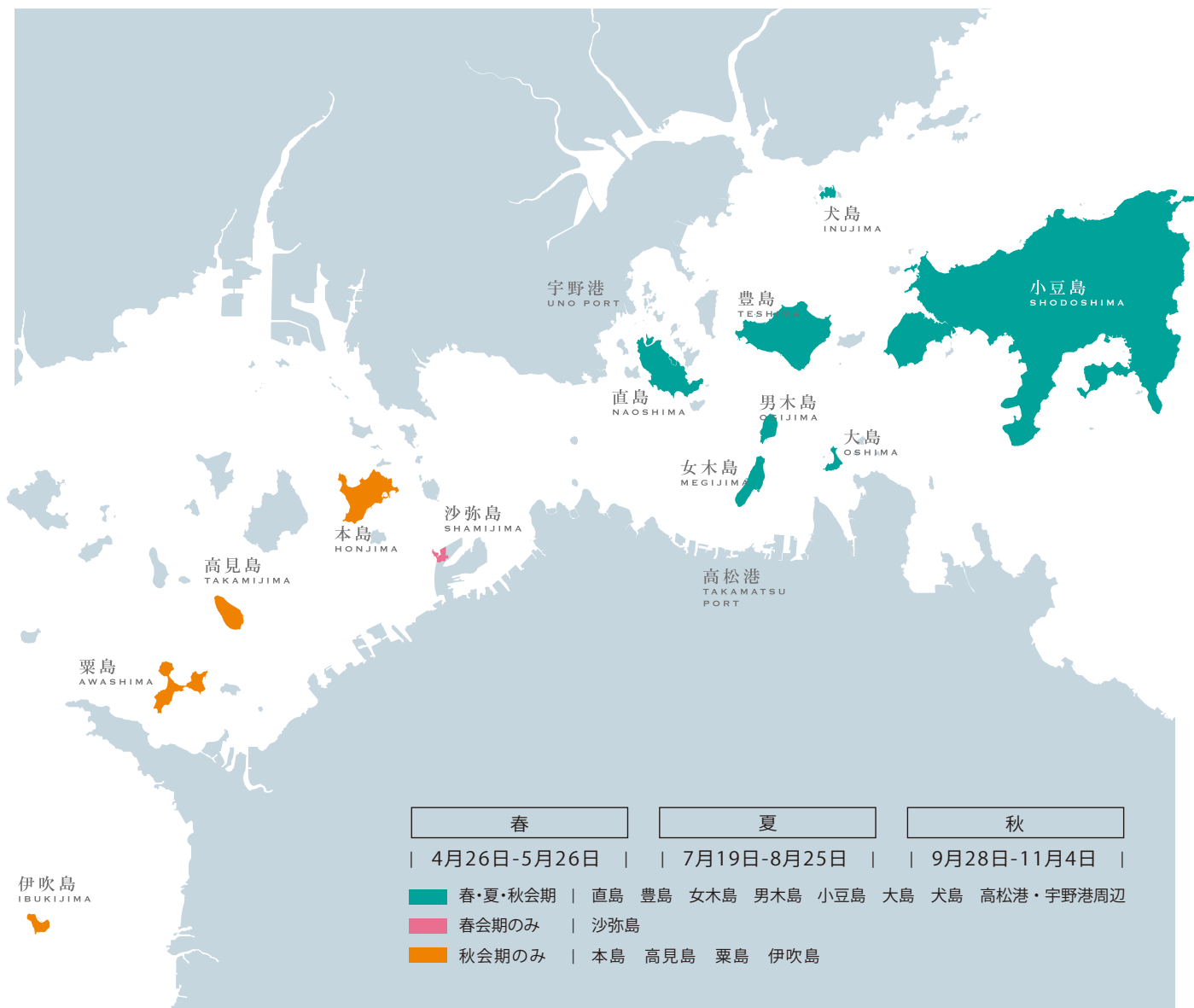
このため、作品の配置状況や来場者の鑑賞ルート等を考慮のうえ、有料施設など入場者数を計測可能な「基準施設(次ページ参照)」を各会場に設定し、会場内の基準施設への来場者数の合計をその会場の来場者数、各会場の来場者数を合計したものを芸術祭全体の来場者数としている。(過去の芸術祭においても同様)

イベント来場者数 18,736人(35イベント計) ※詳細は22-23ページ

会場別来場者数基準施設一覧

会場	作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名	春会期	夏会期	秋会期
直島	na10-B	ANDO MUSEUM	○	○	○
	na11-B	家プロジェクト「角屋」	○	○	○
	na19-B	ベネッセハウスミュージアム	○	○	○
	na21-B	地中美術館	○	○	○
豊島	te01	豊島愛ランドスケープ	○		
	te03-B	針工場	○	○	○
	te06	コロガル公園in豊島©山口情報芸術センター		○	○
	te13-B	豊島美術館	○	○	○
	te15-B	心臓音のアーカイブ	○	○	○
	te17	新作(タイトル未定) 進行中		○	○
女木島	mg05-mg12	「島の中の小さなお店」プロジェクト	○	○	○
	mg14	ISLAND THEATRE MEGI「女木島名画座」	○	○	○
男木島	og03	生成するウォールドローイングー日本家屋のために	○	○	○
	og08	アキノリウム	○	○	○
小豆島	sd04	迷路のまち～変幻自在の路地空間～	○	○	○
	sd05	OKINOSANG／元気・覇気・卦気		○	○
	sd07	フルイーレ	○	○	○
	sd08	小豆島の恋	○	○	○
	sd09	花寿波島の秘密	○	○	○
	sd20	辿り着く向こう岸ーシャン・ヤンの航海企画展	○	○	○
	sd23	鐘舎 Bell Shelter	○		
	sd28	静寂の部屋		○	○
	sd36	国境を越えて・波	○	○	○
大島	os06	歩みきたりて	○	○	○
犬島	in01-B	犬島「家プロジェクト」F邸	○	○	○
	in07-B	犬島精錬所美術館	○	○	○
沙弥島	sm01	階層・地層・層	○		
	sm08,sm09	大岩島2、12島と港の物語 回遊式アニメーション	○		
本島	ho06	咸臨の家			○
	ho11	笠島ー黒と赤の家			○
高見島	ta02	時のふる家			○
	ta06	内在するモノたちへ、			○
粟島	aw01,aw03,aw05	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト、TARA、SOKO LABO			○
	aw04	粟島芸術家村			○
伊吹島	ib04	壁の内の壁			○
	ib05	伊吹の樹			○
高松港周辺	tk02	国境を越えて・海	○	○	○
	tk08-tk11	北浜の小さな香川ギャラリー		○	○
	tk13	香川県立ミュージアム	○	○	
宇野港周辺	un03	終点の先へ	○	○	○
	un09	斜めの構成1 / 斜めの構成2 / 水平の構成3		○	○
			27	29	36

04 会場図



05 沿革

-
- 2017年3月31日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会第21回総会(瀬戸内国際芸術祭2019開催決定)

 - 2017年8月18日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会第22回総会(基本計画策定)

 - 2017年9月15日 作品公募要項発表(応募受付期間2018年1月16日-1月31日)

 - 2018年3月23日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会第23回総会(実施計画策定、参加アーティスト発表)

 - 2018年6月7日 メインビジュアル発表

 - 2018年7月25日 参加アーティスト追加発表

 - 2018年10月30日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会第24回総会(企画内容決定)

 - 2018年11月7日 企画発表会(東京)、公式ウェブサイトリニューアル

 - 2018年11月8日 作品鑑賞パスポート前売り開始

 - 2018年12月18日 企画発表会(北京)

 - 2019年2月25日 案内所本部開設

 - 2019年3月5日 参加アーティスト最終発表、開幕直前展(東京、-3月17日)

 - 2019年4月23日 公式ガイドブック発売

 - 2019年4月26日 瀬戸内国際芸術祭2019春会期開幕(-5月26日)

 - 2019年7月19日 瀬戸内国際芸術祭2019夏会期開幕(-8月25日)

 - 2019年9月28日 瀬戸内国際芸術祭2019秋会期開幕(-11月4日)

 - 2019年11月4日 閉幕
-

06 メインビジュアル

瀬戸内国際芸術祭2019のメインビジュアルのテーマは「海中の生物」。瀬戸内に暮らす人々になじみがあり、瀬戸内の魅力が詰まった生物を素材としたビジュアルとなった。初回からメインビジュアルを手掛けているグラフィックデザイナーの原研哉が制作し、2018年6月7日に発表した。

ポスターやチラシなどの印刷物、作品鑑賞パスポート、公式ウェブサイト、公式アプリなどに展開し、芸術祭の魅力を伝える重要なコミュニケーションツールとなった。

メインビジュアル(ポスター)



作品鑑賞パスポート



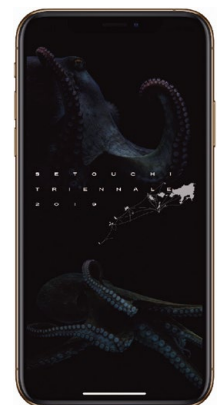
リーフレット



公式ウェブサイト



公式アプリ



07 重点プロジェクト、新しい取組み

重点プロジェクト

1 | 瀬戸内の資源 × アーティスト

瀬戸内海、香川漆芸、讃岐うどん、丸亀うちわ、庵治石、希少糖などの「瀬戸内の資源」に焦点を当て、アーティストが美術的な工夫を凝らすことで、来場者に豊かな体験を提供するとともに地域の魅力を伝えるプロジェクトを、「北浜の小さな香川ギャラリー」として、高松港周辺(北浜エリア)で展開した。



西堀隆史「うちわの骨の広場」 Photo: Keizo Kioku



KOSUGE1-16「LEFTOVERS」 Photo: Keizo Kioku

2 | アジアの各地域 × 瀬戸内の島々

グローバル化の中で、海外、特にアジアの国々が瀬戸内国際芸術祭に寄せる関心は極めて高くなっており、そうした国々のアーティストらと瀬戸内の島々とは連携し、地域と世界とのつながりを深めるためのプロジェクトを展開した。

■ 本島、粟島、伊吹島では、それぞれ、タイ、ベトナム、インドネシアとつながりを深めるための作品設置や交流を行った。

アジアを中心とする国や地域でアートによる地域の活性化に取り組む人々が共に集い、学び合い、語り合う「瀬戸内アジアフォーラム」を、8月21日(水)から24日(土)までの4日間にわたり開催した。



瀬戸内アジアフォーラム

3 | 島の「食」×アーティスト

瀬戸内の島々の「食」をアーティストが掘り起こし、より魅力的な形で提供することで、来場者に島の歴史や風土を感じ、地域の人々とのふれあいを味わってもらえるプロジェクトを展開した。

会場	作品名等	主な料理
女木島	瀬戸内ガストロノミー	レクチャー付きコースランチ
大島	{つながりの家} カフェ・シヨル	ろっぼうやき、しそジュース、梅スカッシュ、チーズケーキ等
本島	<本島×タイ>「笠島-黒と赤の家」カフェ	本島香川本鷹唐辛子と瀬戸内鮮魚のタイカレー、ココナッツかぼちゃプリン
高見島	「海のテラス」	バジルレモンオイルスパゲティ、ポロネーゼスパゲティ、煮込みハンバーグのサラダ添え
粟島	<粟島×ベトナム>「PhoUdon&COFFEE HOUSE」	フォうどんといりこ飯のセット、ベトナムコーヒー
	「瀬戸内少女歌劇団 せとうち物語-粟島編-」	特製海員学校カレー



EAT&ART TARO「瀬戸内ガストロノミー」 Photo: Keizo Kioku



PhoUdonといりこ飯のセット Photo: Keizo Kioku

4 | 芝居・舞踏の多様な展開

オランダのクリスティアン・バスティアンスは、長い間隔離されてきた大島の人々を題材にした映像インスタレーション作品「大切な貨物」を制作し、サンポートホール高松において、その映像と生身の役者が共演するライブ・パフォーマンス公演を行った。

台湾を中心とした数百人のアカペラ合唱団組織Vocal Asiaが、香川県県民ホール（レクザムホール）でアジア最大規模のアカペラの祭典「Vocal Asia Festival」を開催したほか、各島で歌うなど、新しい試みを展開した。

団員を一般公募した瀬戸内少女歌劇団が、粟島の旧海員養成学校を舞台に演じる観客参加型のツアー演劇「せとうち物語-粟島編-」を全8回上演した。

直島で上演した越智良江の「僕らが生まれる7日間の舟歌（バルカロール）」や香川大学×小豆島夢プロジェクトチームが小豆島の肥土山・中山地区で上演した「演劇でみる小豆島のカタチ」では、地元の子ども達が演者として参加した。



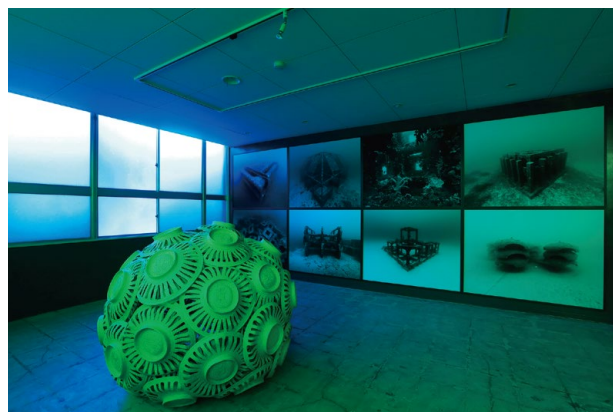
Vocal Asia「Vocal Asia festival」 Photo: Shintaro Miyawaki



瀬戸内少女歌劇団「せとうち物語-粟島編-」
Photo: Shintaro Miyawaki

北浜エリア

島々を巡る出発地となる高松港で、船の待ち時間や島から戻ってきてからの時間を楽しんでもらおうと、夏・秋会期に港から近い北浜エリアで初めて作品を展開した。



ニコラ・フロック「Watercolors」 Photo:Keizo Kioku

SETOUCHI ART BOOK FAIR(玉藻公園)

外国の芸術文化をアートブックを通じて肌で感じられる場所を作るために、アジアを中心とした書店や出版社、作家が展示販売するSETOUCHI ART BOOK FAIRを10月25日(金)から27日(日)までの3日間、高松港近くの玉藻公園披雲閣において開催し、約2,700人の来場者があった。



SETOUCHI ART BOOK FAIR
企画・運営:SABFmakers Photo:Shintaro Miyawaki

四海地区・沖之島(小豆島)

小豆島北西部の漁業が盛んな四海地区・沖之島を初めて作品展示場所とした。小豆島から渡船に揺られて2分ほどの沖之島で、夏会期からクー・ジュンガの「OKINOSANG/元気・覇気・卦気」を展開した。地元食材を使った料理の提供や、竹細工の制作体験などを通じて来場者との交流が行われた。



沖之島への渡船

香川県立ミュージアム

歴史博物館と美術館の機能を合わせ持つ香川県立ミュージアムでは、瀬戸内国際芸術祭2019に合わせて3本の特別展を開催した。

(春) 自然に挑む 江戸の超(スーパー)グラフィッカー
高松松平家博物図譜

(夏) 祭礼百態 — 香川・瀬戸内の「風流」(ふりゅう)

(秋) 日本建築の自画像: 探求者たちのもの語り



三島オコゼ『衆鱗図 第一帖』より
高松松平家歴史資料、
香川県立ミュージアム保管



石清尾八幡宮祭礼図巻 高松松平家歴史資料、香川県立ミュージアム蔵

高松市美術館

宮永愛子による四国初の大規模個展「宮永愛子: 漕法」を夏会期に高松市美術館で開催した。

瀬戸内の景色やそこで暮らしてきた人々が積み重ねる時間をテーマに、澄んだ音色を奏でる讃岐名石「サヌカイト」を素材とする新作インスタレーション、代表的なシリーズである「手紙」や「life」などを展示した。



「宮永愛子: 漕法」より宮永愛子『漕法II』
Photo: Keizo Kioku 提供: 高松市美術館

四国民家博物館(四国村)

四国各地から古い民家を移築復原した野外博物館である四国民家博物館(四国村)で、春会期からラム・カツィールの「Suitcase in a Bottle」を設置、秋会期には東京藝術大学×シカゴ美術館附属美術大学によるグローバルアート共同プロジェクト「流れる瞬間、うつろう場所 (Place out of Time)」として21の作品を展示した。



ラム・カツィール「Suitcase in a Bottle」
Photo: Keizo Kioku



「流れる瞬間、うつろう場所 (Place out of Time)」より
伊東五津美『砂糖うし小屋』 Photo: Kenta Kawagoe

2 | オフィシャルツアー

チャーター船で島々を巡り、ツアーガイドによるアート作品や個性豊かな島々の文化・歴史など島々の魅力の案内や、その島でしか味わえない地元の食材や文化を生かした瀬戸内ならではの「食」を提供する「瀬戸内国際芸術祭オフィシャルツアー」を初めて準備し、計129本催行、合計4,497人の参加があった。(詳細26ページ)



小豆島でのオフィシャルツアーの様子

3 | 企業フォーラム

「企業のサステナブルな発展を目指して」をテーマに、企業が文化活動に取り組む意義等について、有識者の講義や芸術祭会場の視察を通じて企業経営者などの参加者が考え、知見を深めることを目的とした「SETOUCHI企業フォーラム」を10月25日(金)から3日間にわたり開催した。



講義の様子 Photo:Keita Yamada

4 | 島間交流事業

瀬戸内国際芸術祭の会場となっている島や港周辺の住民同士のネットワークを構築し、自分が住むエリアとは別の場所での取組みや参考となる好事例等について情報交換することで、住民が主体となった地域活性化の活動が芸術祭の会場全体に広がるよう、「島間交流事業」を行った。(開催実績42ページ)



沙弥島での取組みについて紹介

5 | 学校連携事業

香川県教育委員会や香川県内の高等学校と連携し、会場となっている島々の独自性や国外からの来場者が多い瀬戸内国際芸術祭ならではの特性などを生かして様々な課外活動等を行い、未来の瀬戸内を担う子どもたちを育成する活動を多方面から展開した。(開催実績42ページ)



丸亀高校の生徒による高見島アートツアー

08 アートプロジェクト・イベント

- 瀬戸内国際芸術祭2019には、32の国と地域から230組の作家が参加した。
- 作品数は214点、イベント数は35であった。

作品

直島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
na01	赤かぼちゃ 草間彌生	○	○	○
na02	海の駅「なおしま」 妹島和世+西沢立衛/SANAA	○	○	○
na03	BUNRAKU PUPPET ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○
na04	直島パヴァリオン 藤本壮介	○	○	○
na05-B	直島銭湯「I♥湯」 大竹伸朗	○	○	○
na06-B	宮浦ギャラリー六区 瀬戸内「緑川洋一」資料館 瀬戸内「」資料館			○
na07-B	The Naoshima Plan 2019「水」 三分一博志	○	○	○
na08	直島ホール 三分一博志	○	○	○
na09	直島港ターミナル 妹島和世+西沢立衛/SANAA	○	○	○
na10-B	ANDO MUSEUM 安藤忠雄	○	○	○
na11-B	家プロジェクト「角屋」 Sea of Time '98 / Naoshima's Counter Window / Changing Landscape 宮島達男	○	○	○
na12-B	家プロジェクト「護王神社」 Appropriate Proportion 杉本博司	○	○	○
na13-B	家プロジェクト「南寺」 バックサイド・オブ・ザ・ムーン ジェームズ・タレル	○	○	○
na14-B	家プロジェクト「碁会所」碁会所 須田悦弘	○	○	○
na15-B	家プロジェクト「石橋」 ザ・フォールズ / 空(くう)の庭 千住博	○	○	○
na16-B	家プロジェクト「はいしゃ」 舌上夢 / ボッコン視 大竹伸朗	○	○	○
na17-B	家プロジェクト「きんざ」 このことを 内藤礼	○	○	○
na18-B	ベネッセハウスパーク [建築] 安藤忠雄 / [アート] 杉本博司	○	○	○
na19-B	ベネッセハウスミュージアム [建築] 安藤忠雄	○	○	○
na20-B	李禹煥美術館 [アート] 李禹煥 / [建築] 安藤忠雄	○	○	○
na21-B	地中美術館 [建築] 安藤忠雄	○	○	○
na22	桜の迷宮 安藤忠雄	○	○	○

豊島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
te01	豊島愛ランドスケープ 垣内光司	○	○	○
te02-B	豊島横尾館 [コンセプト、アート] 横尾忠則 / [建築] 永山祐子	○	○	○
te03-B	針工場 大竹伸朗	○	○	○
te04	ウミタ [ディレクション] 皆川明 / [建築] 緒方慎一郎	○	○	○
te05-B	豊島シーウォールハウス アンリ・サラ	○	○	○
te06	コロガル公園 in 豊島◎山口情報芸術センター 井筒耕平 / 会田大也	○	○	○
te07-B	トムナフーリ 森万里子	○	○	○
te08	空の粒子 / 唐櫃 青木野枝	○	○	○
te09	あなたの最初の色 (私の頭の中の解 (ソリューション) - 私の胃の中の溶液 (ソリューション)) ビビロッチェ・リスト	○	○	○
te10	島キッチン [建築] 安部良	○	○	○
te11-B	ストーム・ハウス ジャネット・カーディフ&ジョージ・ピュレス・ミラー	○	○	○
te12-B	ささやきの森 クリスチャン・ボルタンスキー	○	○	○
te13-B	豊島美術館 母型 [アート] 内藤礼 / [建築] 西沢立衛	○	○	○
te14	勝者はいない - マルチ・バスケットボール イオベット&ボンズ	○	○	○
te15-B	心臓音のアーカイブ クリスチャン・ボルタンスキー	○	○	○
te16-B	豊島八百万ラボ 運命の赤い糸をつむぐ蚕 - たまきの恋 [アート] スブツニ子! / [建築] 成瀬友梨、猪熊純	○	○	○
te17	新作 (タイトル未定) 進行中 塩田千春+田根剛	○	○	○

女木島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
mg01	カモメの駐車場 木村崇人	○	○	○
mg02	20世紀の回想 禿鷹墳上	○	○	○
mg03	MEGI HOUSE 愛知県立芸術大学瀬戸内アートプロジェクトチーム	○	○	○
mg04	BONSAI deepening roots 平尾成志×瀬ト内工芸ズ。	○	○	○
mg05	「島の中の小さなお店」プロジェクト Café de la Plage / カフェ・ドゥ・ラ・プラージュ ヴェロニク・ジュマール	○	○	○
mg06	「島の中の小さなお店」プロジェクト ヘアサロン壽 宮永愛子	○	○	○
mg07	「島の中の小さなお店」プロジェクト ウェディング・ショップ リョン・カータイ [梁家泰] + 赤い糸	○	○	○
mg08	「島の中の小さなお店」プロジェクト ビンポン・シー 原倫太郎 + 原游	○	○	○
mg09	「島の中の小さなお店」プロジェクト ランドリー レアンドロ・エルリッヒ	○	○	○
mg10	「島の中の小さなお店」プロジェクト 世界はどうしてこんなに美しいんだ 山下麻衣 + 小林直人	○	○	○
mg11	「島の中の小さなお店」プロジェクト un... ころのマッサージサロン 中里繪魯洲	○	○	○
mg12	「島の中の小さなお店」プロジェクト 的屋 長谷川仁	○	○	○
mg13-B	女根 / めこん 大竹伸朗	○	○	○
mg14	ISLAND THEATRE MEGI 「女木島名画座」 依田洋一朗	○	○	○
mg15-B	不在の存在 レアンドロ・エルリッヒ	○	○	○
mg16	瀬戸内ガストロノミー EAT&ART TARO	○	○	○
mg17	段々の風 杉浦康益	○	○	○
mg18	家船 (えぶね) KOURYOU	○	○	○
mg19	オニコ瓦プロジェクト オニコプロダクション	○	○	○

男木島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
og01	男木島の魂 ジャウメ・ブレンサ	○	○	○
og02	タコツボル TEAM 男気	○	○	○
og03	生成するウォールドローイング - 日本家屋のために 村山悟郎	○	○	○
og04	うちの海 うちの見 サラ・ヴェストファル	○	○	○
og05	男木島 路地壁画プロジェクト wallalley 眞壁陸二	○	○	○
og06	オンパ・ファクトリー オンパ・ファクトリー	○	○	○
og07	The Space Flower・Dance・Ring (宇宙華・舞・環) 川島猛とドリームフレンズ	○	○	○
og08	アキノリウム 松本秋則	○	○	○
og09	未知の作品2019 グレゴール・シュナイダー		○	○
og10	SEA VINE 一歩打ち際にてー 高橋治希	○	○	○
og11	Trieb一家 遠藤利克		○	○
og12	自転 - 公転 リン・ティエンミャオ [林天苗]	○	○	○
og13	記憶のボトル 栗真由美	○	○	○
og14	漆の家 漆の家プロジェクト	○	○	○
og15	部屋の中の部屋 大岩オスカル	○	○	○
og16	歩く方舟 山口啓介	○	○	○
og17	青空を夢見て レジーナ・シルベイラ	○	○	○

小豆島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
sd01	太陽の贈り物 チェ・ジョンファ[崔正化]	○	○	○
sd02	アートノショーターミナル コシノジュンコ	○	○	○
sd03	再び・・・ キム・キョンミン[金景賢]	○	○	○
sd04	迷路のまち～変幻自在の路地空間～ 目	○	○	○
sd05	OKINOSANG / 元気・覇気・卦気 クー・ジュンガ		○	○
sd06	猪鹿垣の島 齋藤正人	○	○	○
sd07	フルイーレ ジャコモ・ザガネッリ	○	○	○
sd08	小豆島の恋 ワン・ウェンチー[王文志]	○	○	○
sd09	花寿波島の秘密 康夏奈	○	○	○
sd10	境界線の庭 土井満治	○	○	○
sd11	自然の目「大地から」 フリオ・ゴヤ	○	○	○
sd12	Utopia dungeon 田中圭介	○	○	○
sd13	海辺のクォーツ 平野薫	○	○	○
sd14	明日の海 友定睦	○	○	○
sd15	過去と現在の山にのぼり、銀未来の海をながめる 鹿田義彦	○	○	○
sd16	潮耳荘 伊東敏光+康夏奈+広島市立大学芸術学部有志	○	○	○
sd17	エレメント 志水兎王	○	○	○
sd18	"Stand Up!" Series / 駆け出した犬、浮遊する象 高瑞	○	○	○
sd19	山声洞 伊東敏光+広島市立大学芸術学部有志	○	○	○
sd20	辿り着く向こう岸 - シャン・ヤンの航海企画展 シャン・ヤン[向阳]	○	○	○
sd21	石の島の石 中山英之建築設計事務所	○	○	○
sd22	つぎつぎきんつぎ 岸本真之	○	○	○
sd23	鐘舎 Bell Shelter 朱哲琴	○	○	○
sd24	おおきな曲面のある小屋 島田陽	○	○	○
sd25	オリーブのリーゼント 清水久和	○	○	○
sd26	Umaki camp ドットアーキテクツ	○	○	○
sd27	ジョルジュ・ギャラリー ジョルジュ・ルース	○	○	○
sd28	静寂の部屋 ハンス・オブ・デ・ピーク		○	○
sd29	オーケストラピット / ホワイトミュージアム ローザ・バルバ	○	○	○
sd30	スター・アンガー ヤノベケンジ	○	○	○
sd31	アンガー・フロム・ザ・ボトム 美井戸神社 ピートたけし×ヤノベケンジ	○	○	○
sd32	漁師の夢 入江早耶	○	○	○
sd33	愛のポラード 清水久和	○	○	○
sd34-B	福武ハウス「アジア・アート・プラットフォーム」「アジアギャラリー」	○	○	○
sd35	蒼田パヴァリオン 西沢立衛	○	○	○
sd36	国境を越えて・波 リン・シュンロン[林舜龍]	○	○	○
sd37	小豆島の木 竹腰耕平	○	○	○
sd38	ダイナマイト・トラヴァース変奏曲 秩父前衛派	○	○	○
sd39	Leftover 松本勇馬+わらアートJAPAN			○

大島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
os01	青空水族館 田島征三	○	○	○
os02	森の小径 田島征三	○	○	○
os03	「Nさんの人生・大島七十年」-木製便器の部屋- 田島征三		○	○
os04	稀有の触手 やさしい美術プロジェクト		○	○
os05	{つながりの家} GALLERY15「海のかだま」 やさしい美術プロジェクト	○	○	○
os06	歩みきたりて 山川冬樹	○	○	○
os07	海峡の歌 / Strait Songs 山川冬樹		○	○
os08	リングワンデルング、月着陸、物語るテーブルランナー in 大島青松園 鴻池朋子	○	○	○
os09	{つながりの家} カフェ・シヨル やさしい美術プロジェクト	○	○	○
os10	大切な貨物 クリスティアン・バスティアンズ			○

犬島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
in01-B	犬島「家プロジェクト」F邸 Biota(Fauna/Flora) [アーティストックディレクター]長谷川祐子/[建築]妹島和世/[アート]名和晃平	○	○	○
in02-B	犬島「家プロジェクト」S邸 コンタクトレンズ [アーティストックディレクター]長谷川祐子/[建築]妹島和世/[アート]荒神明香	○	○	○
in03-B	犬島「家プロジェクト」A邸 Yellow Flower Dream [アーティストックディレクター]長谷川祐子/[建築]妹島和世/[アート]ベアトリス・ミリャーゼス	○	○	○
in04-B	犬島「家プロジェクト」C邸 エーテル [アーティストックディレクター]長谷川祐子/[建築]妹島和世/[アート]下平千夏	○		
	無題(C邸の花) [アーティストックディレクター]長谷川祐子/[建築]妹島和世/[アート]半田真規		○	○
in05-B	犬島「家プロジェクト」I邸 Self-loop [アーティストックディレクター]長谷川祐子/[建築]妹島和世/[アート]オラファー・エリアソン	○	○	○
in06-B	石職人の家跡 太古の声を聴くように、昨日の声を聴く 浅井裕介	○	○	○
in07-B	犬島精錬所美術館 [アート]柳幸典/[建築]三分一博志	○	○	○
in08-B	中の谷東屋 妹島和世	○	○	○
in09-B	犬島 暮らしの植物園 妹島和世+明るい部屋	○	○	○

沙弥島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
sm01	階層・地層・層 ターニャ・ブレミンガー	○		
sm02	ヨタの漂う鬼の家 Yotta	○		
sm03	そらあみく島巡り 五十嵐靖晃	○		
sm04	フードクラブ アナヒタ・ラズミ	○		
sm05	一雫の海 南条嘉毅	○		
sm06	月と塩をめぐる3つの作品 レオニート・チシコフ	○		
sm07	ピボット マデライン・フリン+ティム・ハンフリー	○		
sm08	大岩島2 大岩オスカル	○		
sm09	12島と港の物語 回遊式アニメーション 蓮沼昌宏	○		
sm10	八人九脚 藤本修三	○		

本島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
ho01	Vertrek「出航」 石井章			○
ho02	シーボルトガーデン 川口豊・内藤香織			○
ho03	そらあみく島巡り 五十嵐靖晃			○
ho04	海境 中村厚子			○
ho05	漆喰・鍍絵かんばんプロジェクト 村尾かずこ			○
ho06	咸臨の家 眞壁陸二			○
ho07	恋の道 ラックス・メディア・コレクティブ			○
ho08	産屋から、殯屋から 古郡弘			○
ho09	善根湯×版築プロジェクト 齊藤正×続・塩飽大工衆			○
ho10	Moony Tunes ツェ・スーメイ			○
ho11	笠島-黒と赤の家 ビナリー・サンピタック			○
ho12	レボリューション/ワールドライズ アリシア・クヴァーデ			○
ho13	水の下空 アレクサンドル・ポノマリョフ			○

高見島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
ta01	積みかさなる白と空白 鎌田祥平・並木文音			○
ta02	時のふる家 中島伽耶子			○
ta03	Long time no see PARANOID ANDERSONS			○
ta04	Keep a record 大石いずみ			○
ta05	まなうらの景色 村田のぞみ			○
ta06	内在するモノたちへ、 山田愛			○
ta07	過日の同居 藤野裕美子			○
ta08	うつりかわりの家 中島伽耶子			○
ta09	家の“メメント・モリ” ロサナ・リオス			○
ta10	除虫菊の家 / 静かに過ぎてゆく 内田晴之 除虫菊の家 / はなのこえ・こころのいろ 小枝繁昭			○
ta11	海のテラス 野村正人			○
ta12	KIRI 梶井照陰			○

粟島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
aw01	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト 日比野克彦			○
aw02	種は船プロジェクト 日比野克彦			○
aw03	TARA TARA			○
aw04	粟島芸術家村 大小島真木、マユール・ワイエダ			○
aw05	SOKO LABO 菊地良太、森山泰地、喜多直人、表良樹、今井さつき×代田江理子、嘉春佳			○
aw06	思考の輪郭 エステル・ストッカー			○
aw07	過ぎ去った子供達の歌 ムニール・ファトゥミ			○
aw08	ナイト&デイ(人生は続く)、この家の貴女へ贈る花束、PhoUdon & COFFEE HOUSE デイン・Q・レ			○
aw09	ヒキコモリ リチャード・ストライトマター・トラン			○
aw10	須田港待合所プロジェクト「みなとのローブハウス」 山田紗子			○

伊吹島

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
ib01	トイレの家 石井大五			○
ib02	伊吹島ドリフト伝説 コンタクト・ゴンゾ			○
ib03	イリコ庵 みかんぐみ+明治大学学生			○
ib04	壁の内の壁 エコ・ヌグロホ			○
ib05	伊吹の樹 栗林隆			○
ib06	バサング メラ・ヤルスマ+ニンディティヨ・アディプルノモ			○

高松港周辺

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
tk01	Liminal Air -core- 大巻伸嗣	○	○	○
tk02	国境を越えて・海 リン・シュンロン [林舜龍]	○	○	○
tk03	「銀行家、看護師、探偵、弁護士」 ジュリアン・オビー	○	○	○
tk04	待つ人 / 内海さん 本間純	○	○	○
tk05	I'm here. ここにいるよ。 谷山恭子		○	
—	北浜の小さな香川ギャラリー [会場構成] ドットアーキテクト+graf / [デザイン・展示] ドットアーキテクト+香川県立高松工芸高等学校	—	—	—
tk06	北浜の小さな香川ギャラリー うちの骨の広場 西堀隆史		○	○
tk07	北浜の小さな香川ギャラリー LEFTOVERS KOSUGE1-16		○	○
tk08	北浜の小さな香川ギャラリー 香川漆芸		○	○
tk09	北浜の小さな香川ギャラリー うどん湯切りロボット 石原秀則		○	○
tk10	北浜の小さな香川ギャラリー Watercolors ニコラ・フロック		○	○
tk11	北浜の小さな香川ギャラリー Izumoring-cosmos of rare sugar 太田泰友×岡薫 / 香川大学国際希少糖研究教育機構		○	○
(mg10)	世界はどうしてこんなに美しいんだ 山下麻衣+小林直人	○ (再掲)	○ (再掲)	○ (再掲)
tk12	DOMMUNE SETOUCHI 宇川直宏		○	
tk13	香川県立ミュージアム 自然に挑む江戸の超(スーパー)グラフィック-高松松平家博物図譜 祭礼百態-香川・瀬戸内の「風流」(ふりゅう) 日本建築の自画像:探求者たちのもの語り	○	○	○
tk14	高松市美術館 宮永愛子:漕法 宮永愛子		○	
tk15	Suitcase in a Bottle ラム・カツィール	○	○	○
tk16	流れる瞬間、うつろう場所 東京藝術大学×シカゴ美術館附属美術大学国際共同プロジェクト			○
tk17	S.F(Smoke and Fog) 金氏徹平	○	○	○
tk18	Watch Tower ジョン・クルメリング	○	○	○
tk19	ウェルカム / ファニーブルー ヴェロニク・ジュマール	○	○	○

宇野港周辺

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
un01	UNO STEP (構想中作品) SUMI+GIBAULT	—	—	—
un02	舟底の記憶 小沢敦志	○	○	○
un03	終点の先へ 小沢敦志	○	○	○
un04	宇野のチヌ / 宇野コチヌ 淀川テクニク	○	○	○
un05	JR宇野みなと線アートプロジェクト エステル・ストッカー	○	○	○
un06	宇野港「連絡船の町」プロジェクト	○	○	○
un07	IN TRANSITION / IN PROGRESS ミシャ・クバル	○	○	○
un08	海の記憶 内田晴之	○	○	○
un09	斜めの構成 1 / 斜めの構成 2 / 水平の構成 3 原口典之		○	○

広域・回遊

作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春会期	夏会期	秋会期
T01	フラワー ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○
T02	ハッピーズネーク ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○

イベント

直島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E01	薫風の舞 直島女文楽	5月18日	200
E02	SETOUCHI THE MOVIE アミューズ	9月28日-11月3日の間に計20日	685
E03	直島建築ツアー	5月12日・19日、7月27日、8月3日・17日、 10月5日・26日、11月2日 ※10月12日は台風接近のため中止	68
E04	僕らが生まれる7日間の舟歌(バルカロール) 越智良江	8月10日・11日	270

豊島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E05	島のお誕生会	5月3日、8月4日、10月6日、11月2日	570
E06	パズル・クリーチャー 豊島にて ネオン・ダンス	9月28日・29日	220
E07	空を曳く(風絵付ワークショップ) 気流部	8月10日-12日、10月13日・14日	70
	空を曳く(大風揚げ) 気流部	8月11日・12日、10月13日・14日	280

女木島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E08	中條晴之ワークショップ「天遊茶会」	5月11日	61
	北住淳ピアノコンサート「喜びの島-MEGI Vol.10」	7月20日	42
	「WAVE」Hybrid Concert	8月17日	32
	井上尚子ワークショップ「KUNKUN ISLAND@女木島-島の匂いをめぐる旅-」	8月23日・24日	12
	倉田寛トロンボーンコンサート	10月5日	44
	白石禮子エレクトリック・ヴァイオリンコンサート	10月31日	44
	アンサンブル瀬戸内コンサート「色彩」	10月19日	58
	掛谷勇三ピアノコンサート「喜びの島-MEGI Vol.11」	10月26日	44
ユーフォニアム&チューバコンサート「重低音の魅力」 愛知県立芸術大学瀬戸内アートプロジェクトチーム(上記全て)	11月2日	67	
E09	白砂青松を駆ける MEGI-ONI-Festival 2019 鬼太鼓座	5月11日	279
E10	女木島名画座上映会	4月30日、8月17日 ※10月12日は台風接近のため中止	65

男木島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E11	WONDER WATER 男木島ver. ひびのこづえ	8月24日・25日 ※8月24日は1日2回公演	443
(E23)	島膜_Ogi jiku	10月19日・20日	85

小豆島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E12	アジア・アート・プラットフォーム「デジャヴ - 生きている遺産」 福武ハウス	7月21日	336
E13	Limpid Sun 後山阿南	7月20日・21日・27日・28日	269
E14	演劇でみる小豆島のカタチ「トラと呼ばれたサル」	8月24日・25日	395
	演劇でみる小豆島のカタチ「蛙の池の今昔物語」 香川大学×小豆島夢プロジェクトチーム	9月28日・29日	424
E15	芝生男女 ままごと	10月25日-27日	199

大島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E16	大島に行こう!アートと自然を楽しむ子どもサマーキャンプ	8月1日-3日	130

犬島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E17	犬島楽茶2019 藤原和	5月5日・6日・19日、7月28日、8月10日・11日・24日、9月28日・29日・10月26日	330
E18	エントロピーの楽園-第2章- ANTIBODIES Collective	10月13日・14日 ※10月12日は台風接近のため中止	301

沙弥島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E19	万葉茶会とその講演 ~華~ 市民煎茶グループ 曙	4月29日	700

本島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E20	ラプラタ川-旅芝居- ベビー・ピー	9月28日・29日	90

粟島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E21	カーチャー ハイフォン・カーチャークラブ	9月28日	100
E22	せとうち物語—粟島編— 瀬戸内少女歌劇団	10月5日・19日・26日、11月2日 ※1日2回公演、10月12日は台風接近のため中止	200

伊吹島

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E23	島膜_ibuki jiku	10月26日・27日	144

高松港周辺

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E24	キネマと音楽の夕べ in 屋島 坂本頼光×鈴木広志×大口俊輔×小林武文	5月5日	236
E25	悪童日記 サファリ・P	10月5日	154
E26	「舞」讃岐の伝統~新たな時代へ~ 讃岐獅子舞保存会	5月26日	1300
E27	DOMMUNE SETOUCHI 宇川直宏	7月19日-8月25日の間に計26日	656
E28	Vocal Asia Festival Vocal Asia	8月11日(高松港周辺)・12日(豊島・小豆島・高見島)	1392
E29	SETOUCHI ART BOOK FAIR【企画・運営】SABFmakers	10月25日-27日	2692
E30	大切な貨物 クリスティアン・バステアンス	11月1日・2日	553
E31	瀬戸内アジアフォーラム	8月21日-24日	400

宇野港周辺

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E32	nomad note dance in Uno II nomad note dance	5月3日-5日、10月26日・27日 ※5月5日、10月27日は1日2回公演	450

広域・回遊

作品番号	イベント名 作家名・施設名	開催日	来場者数
E33	海と森の守りびと 世田谷シルク	5月19日(沙弥島ほか)・26日(豊島・宇野港周辺)	800
E34	侵入~運んでホイホイ	4月26日(高松港周辺)・27日(高松港周辺・女木島・男木島)・28日(沙弥島)	590
	ラジオで踊る 伊藤キム	4月27日(高松港周辺)	55
E35	せっぽくびすととらず・神出鬼没「島奇襲」の巻	4月26日(高松港周辺・宇野港周辺)・27日(沙弥島)・28日(男木島・小豆島)、7月19日(大島・高松港周辺)・21日(小豆島・高松港周辺)	1240
	せっぽくびすととらず・神出鬼没「村をつくる」の巻	7月20日(高松港周辺)	311
	せっぽくびすととらず・神出鬼没「お遍路膝栗毛」の巻 切腹ピストルズ	11月2日(豊島)・3日(観音寺港ほか)・4日(多度津港ほか)	650

09 交通の整備

1 | 海上交通

高松-大島間の一般旅客定期航路としての運航開始に合わせた男木島-大島間の航路など、会場の島を結ぶ6つの臨時航路を各航路事業者により開設した。また、既存の9定期航路でダイヤ増便を行った。一部航路では旅客定員の拡大や状況に応じた臨時便運航を行った。

会期中臨時航路

- ・小豆島(土庄)⇄直島(宮浦) 2便/日
- ・小豆島(土庄)⇄犬島 3便/日
- ・小豆島(坂手)⇄土庄東⇄直島(本村)⇄男木島 1便/日(土日祝及びお盆のみ)
- ・男木島⇄大島 2便/日(土日祝及びお盆のみ)
- ・牛窓⇄犬島⇄京橋⇄犬島 1便/日
- ・本島⇄高見島⇄粟島<秋会期> 平日6便/日、土日祝9便/日

既存定期航路のダイヤ増便

- ・高松⇄直島(宮浦)
- ・直島(宮浦)⇄豊島(家浦)⇄犬島
- ・高松⇄直島(本村)⇄豊島(家浦)
- ・高松⇄豊島(唐櫃)
- ・宇野⇄豊島(家浦)⇄豊島(唐櫃)⇄土庄(小豆島)
- ・丸亀⇄本島<秋会期>
- ・児島⇄本島<秋会期>
- ・多度津⇄高見島<秋会期>
- ・観音寺⇄伊吹島<秋会期>

2 | 島内交通

島内での来場者の移動手段の確保と住民生活への影響緩和の観点から、港と作品展示場所とを結ぶバス路線を各事業者により新設(直島1路線、豊島2路線、小豆島1路線、本島1路線)・増便(小豆島2路線)した。

3 | 本土側港付近

各島への起点となる港までの公共交通機関が少ないところでは、関係団体により、最寄りの駅・臨時駐車場からのシャトルバスを運行した。

高松港では、芸術祭総合案内所前に臨時バス停を設けて空港からのリムジンバスが到着するようにし、空港からの来場者の利便性を高めた。

各島への起点となる港付近に、関係団体等により臨時駐車場を開設した。

- ・作品鑑賞パスポート購入者専用無料駐車場(高松港 約500台)
- ・その他臨時無料駐車場(沙弥島 約430台、丸亀港 約130台、多度津港 約100台、須田港 約350台、観音寺港 約200台、児島港 約100台)

10 来場者対応

1 | 案内所の運営

開幕前の2019年2月25日から閉幕まで、実行委員会事務局内に案内所本部を設置し、多言語対応のコールセンターとして、電話やメールによるさまざまな問い合わせに対応した。

会期中は、各会場の港などに計27カ所の案内所を設け、作品やイベント、交通に関する案内、作品鑑賞パスポートや公式グッズの販売などを行った。最も多くの来場者が訪れる高松港の案内所は、「瀬戸内国際芸術祭総合案内所」として、外国語対応を強化した。

各港周辺では、案内スタッフや警備員が乗り場案内や乗船整列を行った。多言語の案内看板や翻訳アプリも活用した。

案内所には、救急セットや熱中症対策用具を配備して、緊急の場合に対応したほか、無料貸出用の車いすを配備した。

すべての案内所に加え、主要な作品、主要な航路の船内にも無料Wi-Fiスポットを整備した。



案内所本部



高松港総合案内所



会場における案内の様子

2 | 公式ウェブサイト、公式アプリケーションの活用

経路検索機能を備えたスマートフォン用公式アプリケーションを無料公開し、来場者の周遊をサポートした。(ダウンロード数:iOS版58,918件、Android版10,160件)

来場者があらかじめ作品・施設の休館や混雑状況、船の欠航などを知ることができるよう、公式ウェブサイトと公式アプリケーションを活用してリアルタイムに情報提供した。

会期中の混雑予想カレンダーを公式ウェブサイトに掲載し、来場者の分散化を図った。



3 | フェリー8航路限定3日間乗り放題乗船券

フェリーの利用を促進して旅客船の混雑緩和を図るため、航路事業者との共同企画により、東側会場エリアの「フェリー8航路限定3日間乗り放題乗船券」を販売した。(販売枚数:31,911枚)

11 オフィシャルツアー、カスタマイズツアー

1 | オフィシャルツアー

■ チャーター船、チャーターバスを利用し、芸術祭の新規作品を中心に作品を鑑賞する7コースを準備した。

ツアーコース

コース名	対象会場	料金(1人当たり)
Aコース	豊島・犬島	13,800円
Bコース	大島・女木島・男木島	9,800円
Cコース	小豆島	9,800円
Dコース	宇野港・犬島	9,800円
Eコース(春会期のみ)	沙弥島・瀬居島・屋島	9,800円
Fコース(秋会期のみ)	高見島・本島	14,800円
Gコース(秋会期のみ)	伊吹島・粟島	14,800円

※催行するコースは曜日によって異なる。

参加者数

会 期	ツアー本数	定 員	参加者数	参加率
春会期	43本	1,662人	1,468人	88%
夏会期	32本	1,192人	1,116人	94%
秋会期	54本	2,040人	1,913人	94%
合 計	129本	4,894人	4,497人	92%

※台風や海上の天候不良のため、春会期は1本、夏会期は6本、秋会期は9本のツアーが催行中止となった。

■ ツアー参加者へのアンケート調査の概要

- ・男女別では、女性が69.8%、男性が30.2%となっている。
- ・参加者の平均年齢は50.9歳であった。
- ・香川県・岡山県からの参加者は40%、国外からの参加者は14%であった。
- ・瀬戸内国際芸術祭に初めて来場したのは、国内の参加者は40.6%、国外からの参加者は80.6%であった。
- ・オフィシャルツアー全体の評価として、国内の参加者は96%、国外からの参加者は95%が「満足」「やや満足」と評価している。
- ・次回芸術祭でオフィシャルツアーが実施された場合、国内の参加者の78.7%、国外からの参加者の78.9%が「参加する」と回答している。

2 | カスタマイズツアー

特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークが主体となり、旅行者の希望に応じた旅の企画、手配、ガイドを行うカスタマイズツアーを138回実施し、延べ3,084人が参加した。国外からの参加者は30%、ツアーの参加目的は、観光が58%、視察・研修が37%であった。

12 ボランティアサポーターの活動

アーティストと地域をつなぎ、作品と来場者を結ぶ役割を果たす瀬戸内国際芸術祭のサポーターには、「こえび隊」と「企業・団体ボランティアサポーター」とがある。国内外の個人が参加する前者が中心となりながら、香川県内の企業を中心とした団体が参加する後者にも多くの人が携わり、参加者の総数は延べ9,458人となった。

■ 家族連れや高校生の参加が増え、地元を中心とした子どもたちがサポーターとして芸術祭に関わる姿も見られた。

瀬戸内国際芸術祭2019 ボランティアサポーター参加実績

参加数	(内訳)			
	春	夏	秋	
こえび隊				
総数	7,165人	2,552	2,235	2,378
作品制作	2,217人	939	563	715
作品受付	4,251人	1,320	1,474	1,457
各種ガイド	98人	31	17	50
イベント運営	599人	262	181	156
企業・団体サポーター				
総数(社/団体数)	53社/団体	—	—	—
総数(参加者数)	2,293人	402	588	1,303
サポーター総数	9,458人			

※すべて延べ数



高松港での朝礼の様子 Photo: Shintaro Miyawaki



国外からの参加者

1 | こえび隊

2018年秋から始まった作品制作、企画発表会の運営補助、会期中の作品受付やイベント運営補助、閉幕後の作品撤去に、延べ7,165人(実数 1,324人)が参加した。

1,324人のうち、約18%は国外からの参加者であった。中国や台湾をはじめとしたアジアの国と地域からの参加者が全体の約1割にのぼった。

作品受付に参加した「こえび隊」のうち、約35.6%は国外からの参加者で、参加者の出身国/地域は、中国、香港、台湾、タイ、マレーシア、シンガポール、カナダ、イタリア、スペイン、フランス、ドイツ等であった。

遠方からの参加者が、宿泊しながら長期にわたり活動することができるよう、高松市内に「こえび寮」を開設した。2019年3月から11月までの9カ月間で、延べ4,122人が利用し、そのうち約54%(2,227人)が国外在住者であった。

芸術祭の趣旨やこえび隊の活動内容について説明し、新たな参加者を募る「こえびミーティング」を15回行った(台湾1回、香川県以外の国内4回、香川県10回)。

2 | 企業・団体ボランティアサポーター

地域貢献や社員教育などの観点から、企業や学校を中心として、53社・団体、延べ2,293人が、作品受付などの活動を行った。

香川県内の参加は、県内に本社・本部を置く企業・団体が38、学校が11であった。

参加者からは「とてもやりがいがあった。こえび隊に登録しようと思う。」「普段会うことのない国外の方々や島の人たちと交流できて楽しかった。」などの声が聞かれた。

参加団体一覧(参加申込受付順)

香川県信用組合/株式会社百十四銀行/国立大学法人香川大学/株式会社マルナカ/四国電力株式会社/香川短期大学/高松大学・高松短期大学/三菱電機グループ/株式会社香川銀行/穴吹エンタープライズ株式会社/株式会社資生堂/株式会社ベネッセホールディングス/香川県職員退職者会/高松信用金庫/観音寺信用金庫/仁尾興産株式会社/香川県立高瀬高等学校/四国職業能力開発大学校/香川県立多度津高等学校/社会福祉法人多度津町社会福祉協議会/公益社団法人多度津町シルバー人材センター/多度津商工会議所女性会/四変テック株式会社/四国計測工業株式会社/多度津町議会/禅林学園高等学校/社会福祉法人多度津福祉会特別養護老人ホーム桃陵苑/株式会社神原薬局/公益財団法人多度津町文化体育振興事業団/金剛禅総本山少林寺/多度津町上水道工事業協同組合/多度津町高見漁業協同組合/西讃観光株式会社/海ほたる隊/三豊市OB・OG/大手前丸亀中学・高等学校/観音寺市ボランティア連絡協議会/公益社団法人さぬき青年会議所/丸亀ロータリークラブ/香川高等専門学校/西岡商事株式会社/香川県立観音寺第一高等学校/岡山県立倉敷古城池高等学校美術部/一般社団法人SHORINJI KEMPO UNITY/一般財団法人少林寺拳法連盟/学校法人禅林学園/香川県立観音寺総合高等学校/株式会社北四国グラビア印刷/三豊市観光交流局 ほか4団体

13 広報

1 | 企画発表

- 東京、岡山において、メディア・行政関係者・協賛企業等を対象に企画発表を行った。
- 中国での効果的な情報発信を目的に、首都・北京にて、中国の芸術・旅行関係の有力メディアを対象に企画発表を行った。

開催日	会場	名称/内容(主な内容)	来場者数
2018年11月7日	東京ミッドタウンホール&カンファレンス	企画発表会/企画概要発表 (作品、作家、作品鑑賞パスポート、オフィシャルツアー等紹介)	350
2018年11月29日	(株)ベネッセコーポレーション 大会議室(岡山)	岡山説明会/企画概要説明(作品、作品鑑賞パスポート、 オフィシャルツアー紹介、玉野市長挨拶)	180
2018年12月18日	CHAOホテル日光会堂(北京)	中国発表会/企画概要発表(作品、中国人作家紹介)	100

2 | プロモーション

- 香川県内、岡山県内、首都圏など国内のさまざまな場所に加え、海外でも機会を捉えてプロモーションを行った。

国内

開催日	会場	名称等	内容
2018年7月21日	直島町 直島ホール	安藤忠雄講演会「直島の30年、 これからの10年」	安藤忠雄特別講演、パネル・ポスター展示、 チラシ配布
2018年8月3日-9月18日	新潟県十日町市	大地の芸術祭 越後妻有アート トリエンナーレ2018	PRブース設置、パネル展示、チラシ配布
2018年9月20日-23日	東京ビッグサイト	ツーリズムEXPOジャパン2018	パネル展示、PR動画、チラシ配布
2018年10月24日	キャッスルプラザ(名古屋)	四国観光商談会	ポスター展示、チラシ配布
2019年3月5日-17日	渋谷ヒカリエCUBE1/2/3	瀬戸内国際芸術祭2019開幕直前展	パネル展示、PR動画、チラシ配布、パスポート 及びオフィシャルグッズ販売
2019年2月5日、3月5日、4月2日	山陽新聞社本社ビル(岡山)	山陽新聞カルチャープラザ特別講座 『瀬戸内国際芸術祭2019に行こう!』	講演会、ポスター展示、チラシ配布、作品鑑賞 パスポート販売
2019年2月20日-3月5日	伊勢丹新宿本店	香川デザイン倶楽部	ポスター展示、オフィシャルグッズ販売
2019年3月1日-11月4日	高松中央商店街(香川)		バナーフラッグ掲示、懸垂幕掲示
2019年3月20日-5月6日	岡山イオンモール		PRスペース設置、ポスター・パネル展示、 PR動画、チラシ配布、作品鑑賞パスポート紹介
2019年3月20日-5月6日	岡山高島屋	瀬戸内国際芸術祭2019パネル展	パネル展示
2019年3月26日-4月25日	天満屋本店(岡山)		デジタルサイネージ展示、ミニ講演会、 ポスター展示、PR動画、チラシ配布、 作品鑑賞パスポート紹介
2019年3月31日	レクザムホール(香川)	瀬戸内国際芸術祭2019開幕直前企画 安藤忠雄講演会「芸術の力」	安藤忠雄特別講演、パネル・ポスター展示、 チラシ配布
2019年4月24日-11月4日	丸亀町グリーン(香川)		懸垂幕掲示、横断幕掲示、床面装飾、柱巻装飾
2019年4月26日-5月6日	高松三越(香川)	瀬戸内国際芸術祭2019パネル展	パネル展示、オフィシャルグッズ販売
2019年5月27日	ホテルグランヴィア(大阪)	JR四国大阪商品説明会	ポスター展示、チラシ配布
2019年7月10日-23日	新宿高島屋	瀬戸内国際芸術祭2019写真展	パネル展示、チラシ配布
2019年7月16日、10月1日	新宿三井ビル	瀬戸内国際芸術祭2019講演会	講演会、ポスター展示、PR動画
2019年7月19日-8月4日	高松三越(香川)	瀬戸内国際芸術祭2019パネル展	パネル展示、オフィシャルグッズ販売
2019年7月26日、27日	岡山イオンモール	ハレマチマルシェ	PRブース設置、パネル展示、チラシ配布、 作品鑑賞パスポート販売
2019年9月26日、28日-30日 10月3日、5日-6日、8日	神戸メリケンパーク	ラグビーワールドカップ2019 ファンゾーンin神戸	PR動画、チラシ配布
2019年10月5日、6日	イオンモール新居浜店(5日)、 今治新都市店(6日)(愛媛)	秋会期開幕キャンペーン	パネル展示、PR動画、チラシ配布、 パスポート販売
2019年10月20日-22日	にっぽん丸	にっぽん丸瀬戸内国際芸術祭クルーズ	北川ディレクター講演、ポスター・のぼり展示、 チラシ配布、作品鑑賞ツアー

※上記の他、各地で開催される香川県人会等でプロモーションを行った。

海外

開催日	会場	名称等
2017年8月10日	北京 日本大使館	日本大使館アートイベント
2018年6月27日-28日	北京 朝陽区 CRAVINGS	瀬戸内アートイベント
2018年8月25日-26日	香港 セントラル・ハーバーフロント・イベントスペース	賞想文創節
2018年11月11日	上海 環貿IAPM THE CUT Roof top	瀬戸内アートイベント
2018年11月13日	台湾 台中市 集思台大会議センター	台湾・香港観光キャンペーン2019瀬戸内国際芸術祭セミナー
2018年11月14日	香港 香港浸会大学	台湾・香港観光キャンペーン2019瀬戸内国際芸術祭セミナー
2019年4月18日-21日	上海 上海展覧中心	WTF2019(上海世界旅行博覧会2019)
2019年5月24日-28日	台湾 高雄市 高雄展覧館	KTF2019(高雄市旅行公会国際旅展2019)
2019年5月31日-6月3日	台湾 台中市 大台中国際会議センター	ATTA2019(台中国際旅行展示会2019)
2019年6月13日-16日	香港 香港コンベンション&エキシビジョンセンター	ITE2019(香港国際旅行展示会2019)
2019年7月17日-23日	香港 香港コンベンション&エキシビジョンセンター	BookFair2019
2019年7月25日-27日	台湾 台北市 台北世界中心展覧一館A区	台湾美食展



企画発表会(東京)



企画説明会(岡山)



企画発表会(北京)



開幕直前展(渋谷ヒカリエ)



丸亀町グリーンでのPR



大地の芸術祭でのPR

公式ガイドブック

作品、イベント、地図、食、交通情報などを掲載した公式ガイドブックを日本語版及び英語版(電子書籍)により発行した。また、日本語版の購入者には秋会期の詳しい情報を記載した冊子を芸術祭の案内所などで無料配布した。

■ 日本語版

本体価格:1,111円(税抜)

発行部数:5万8千部

■ 英語版(電子書籍)

本体価格:春夏版778円(税抜)

秋版冊子333円(税抜)



各種制作物

グラフィックデザイナー原研哉のディレクションの下、ポスターやリーフレットなどの印刷物、のぼり、横断幕などの広告物、クリアファイル、ピンバッジなどのノベルティグッズを制作したほか、PR動画を制作した。

ポスター、リーフレットは公共機関、全国の美術館、学校等に掲出及び配布を依頼した。のぼり、横断幕などは港や船、作品周辺などに掲出した。PR動画は、オウンドメディア、全日空国内線・国際線機内などで放映した。



のぼり



横断幕



フラッグ



バスフロント幕

公式ウェブサイト

公式ウェブサイト(setouchi-artfest.jp)は、2018年11月7日の企画発表会にあわせてリニューアルを行い、瀬戸内国際芸術祭2019に関する情報の集約拠点として、5言語(日・英・中(簡体字・繁体字)・韓)で発信した。

来場者に必要な情報をカテゴライズしたページを新設したほか、地域活性のために継続して取り組んでいる事業に関する情報発信にも力を入れた。また、作品のメンテナンス休館や船の欠航などの緊急情報を伝えるページを公式アプリと連結させ、タイムリーで正確な情報発信を行った。

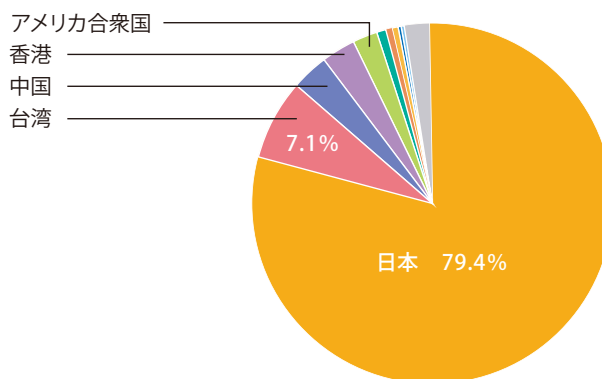
2018年11月7日から2019年11月4日までに、200の国と地域から、1,830,433ユーザー*1からのアクセスがあった。同期間のセッション数*2は、3,899,258件であった(2016は約283万件)。

*1 Google Analyticsにより解析したウェブサイトへの訪問者数のこと。期間内に同一ユーザーが何度アクセスしても1件と数える。2016は、1,268,736ユーザーからのアクセスがあった。

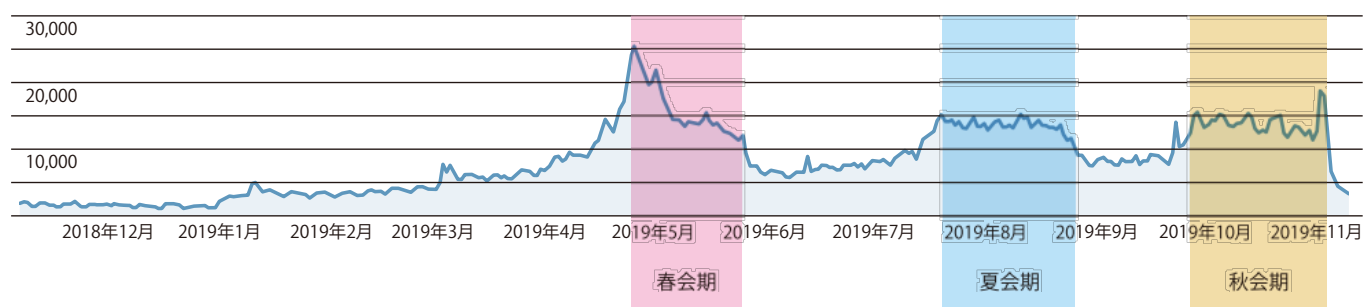
*2 Google Analyticsにより解析した「延べ何回ウェブサイトを訪問されたか」を示す数字である。

79.4%は国内からアクセスしたユーザーで、残りの20.6%(356,520件)が国外のユーザーであった。

順位	国名	ユーザー	割合
1	日本	1,473,913	79.44%
2	台湾	131,945	7.11%
3	中国	62,998	3.40%
4	香港	53,566	2.89%
5	アメリカ合衆国	44,682	2.41%
6	シンガポール	11,478	0.62%
7	韓国	11,465	0.62%
8	オーストラリア	9,945	0.54%
9	イギリス	7,985	0.43%
10	フランス	5,201	0.28%



1日で最も多いユーザーからアクセスがあったのは2019年4月26日(金)の25,134件であった。



会場の島々の歴史や文化などにスポットを当てる「せとうちのしおり～瀬戸内国際芸術祭2019の島と港～」を、2018年6月から2019年2月まで毎週金曜日に配信した。

Facebook (フェイスブック)

- イベントの告知や、動画を用いたプロモーションなどを中心に発信した。
- アカウントへの「いいね!」件数は、2019年11月4日時点で59,653件と、3年前同時期の1.2倍となった。

Twitter (ツイッター)

- 即時性の高さや拡散力が高い特徴を利用した発信を行った。
- フォロワー数は、2019年11月4日時点で34,445人と、3年前同時期の1.4倍となった。

Instagram (インスタグラム)

- 瀬戸内の風景の美しさや作品の魅力を伝えることに重点をおいて写真や動画を投稿した。
- フォロワー数は、2019年11月4日時点で36,226人と、3年前同時期の4.6倍となった。

5 | プレスツアー

- 春、夏、秋それぞれの会期の開幕前に、次のとおり報道関係者向けのツアーを実施した。

開催日	名称	訪問先	参加者数
2019年4月23日、24日	春会期プレスツアー	直島、豊島、小豆島、男木島、女木島、沙弥島、宇野港周辺※1	123
2019年7月16日、17日	夏会期プレスツアー	小豆島、男木島、大島、犬島、高松港周辺、宇野港周辺	63
2019年9月25日、26日※2	秋会期プレスツアー	本島、高見島、粟島、伊吹島	61

※1 犬島も予定していたが強風のため中止となった。

※2 27日に大島にてクリスティアン・バステアンス作品のみの内覧を実施し、23名が参加がした。

6 | パブリシティの実績

- 新聞・テレビ・雑誌等の各種メディアで、2018年11月7日から2019年11月30日までに1,513件の掲載・放送があった。
- このうち、海外が107件(7%)、香川県・岡山県以外の国内が483件(11.9%)であった。

種別	海外	全国	地方	香川・岡山	合計
新聞	2	26	13	559	600
テレビ	5	29	15	183	232
ラジオ	1	2	3	32	38
雑誌等	54	161	136	123	474
ウェブ	45	88	10	26	169
合計	107	306	177	923	1,513

※ 2018年11月7日から2019年11月末日までの実績を集計したもの。

※ 掲載・放送の主眼が芸術祭に置かれているもののみ抽出している。

※ 「地方」は、香川・岡山を除く地方ローカルを指す。

※ 本報告書作成時点で制作中の番組・雑誌等もあるため、最終実績はさらに増加する。

国内メディアでの掲載・放映実績(主なもの)

新聞

- ・読売新聞関西版 5/11(6段)、同夕刊全国版 7/22(4段)
- ・日本経済新聞全国版 7/14(7段)
- ・朝日新聞夕刊全国版 8/6(4段)
- ・毎日新聞夕刊全国版 8/14(4段)
- ・四国新聞 4/8(3面)、4/26(6面)、7/5(3面)、7/19(3面)、9/14(3面)、9/28(5面)
- ・山陽新聞 4/25(4面)、7/18(4面)、10/7(3面)

雑誌

- ・「婦人画報」4/1発行(18P)
- ・「地球の歩き方Japan島旅14 直島 豊島 女木島 男木島 犬島 瀬戸内の島々②」4/3発行(41P)
- ・「瀬戸の島旅 小豆島・直島・豊島・女木島・男木島+7島めぐり」4/19発売(56P)
- ・「瀬戸内めぐりの旅」4/30発行(20P)
- ・「SAVVY」6/22発行(53P)
- ・「Discover Japan」7/5発行(38P)
- ・「Casa BRUTUS」7/9発行(48P)
- ・「OZ magazine」7/12発行(16P)
- ・「美術屋 百兵衛」7/14発行(12P)

ウェブサイト

- ・「FASHION PRESS」4/13掲載
- ・「Casa BRUTUS」5/6、7/26、10/18掲載
- ・「美術手帖」7/24掲載
- ・「Discover Japan」8/28掲載
- ・「Forbes Japan」9/7掲載
- ・「日経クロストレンド」10/3掲載

テレビ

全国

- ・NHK-BS「につぼん ぐるり えとこ『新しい風に吹かれて 島めぐり〜香川の島々〜』6/29放送(40分)
- ・NHK-BSプレミアム「さぬきドキッ!『島をまるごと楽しむ!瀬戸内国際芸術祭2019』7/23放送(25分)
- ・NHK総合「体感トラベル 瀬戸内国際芸術祭」9/23放送(30分)
- ・BS朝日「魔法にかかった島々 武田双雲 現代アートでポジティブ旅」10/21放送(60分)
- ・日本テレビ「笑神様は突然に・・・」10/30放送(10分)
- ・日本テレビ「嵐にしやがれ」11/2放送(10分)
- ・テレビ朝日「テレメンタリー『長生きしてよかった〜強制隔離と現代アートの島で〜』11/24放送(30分)

その他

- ・TSC「かがわ島旅レシピ〜はじまる、瀬戸内国際芸術祭2019〜」3/10放送(30分)
- ・RNC「渡部陽一の瀬戸芸に魅せられて」7/22放送(30分)
- ・RNC「瀬戸芸ノススメ2019夏」8/2放送(60分)
- ・毎日放送「ミント!」8/14放送(25分)
- ・RNC「小さな島の美容室 海と向きあうとき」8/23放送(30分)
- ・NHK高松「絶景に出会う旅『せとうちアートクルーズ 瀬戸内国際芸術祭2019』11/15放送(40分)

ラジオ

- ・TOKYO FM「NAGOMI Setouchi」1月-3月、5月-9月 毎週土曜日放送(各25分)
- ・RNC、RSK「島島ラジオ」4月-11月 毎週土曜日放送(各20分)

国外メディアでの掲載・放映実績(主なもの)

新聞・雑誌・テレビ

- ・「東京建築女子」12月掲載(22P)【中国】
- ・「u magazine 周刊TRAVEL」2月掲載(2P)【香港】
- ・「THE TIMES」2月掲載(1P)【英国】
- ・「Reise und Preise」7月掲載(5P)【独国】
- ・「Metro」9月掲載(2P)【英国】
- ・「MUZIK」9月掲載(15P)【台湾】
- ・「Paris Match」10月掲載(5P)【仏国】
- ・NHK国際放送局「NHK WORLD Direct Talk」9/17放送(15分)【海外160カ国】

ウェブサイト

- ・「Fodor's Travel」11/12、2/4、7/15掲載【米国】
- ・「ARCHITECTURAL DIGEST」11/12、4/26掲載【米国】
- ・「The Guardian」11/16、1/5、1/19掲載【英国】
- ・「Condé Nast Traveler」12/4、2/28掲載【米国】
- ・「National Geographic Traveller」12/4掲載【英国】
- ・「Forbes」12/24、7/9掲載【米国】
- ・「The New York Times」1/9、11/12掲載【米国】
- ・「Telegraph」4/25掲載【英国】
- ・「USA TODAY」8/26掲載【米国】
- ・「VOGUE」8/30掲載【米国】

新聞、雑誌等

媒体	掲載日	サイズ	内容
四国新聞	2019年4月8日	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポートのPR
	2019年4月26日	ラッピング60段カラー	作品鑑賞パスポート、アプリ、ガイドブック、イベントのPR
	2019年7月5日	記事下全5段カラー	島めぐりの心得、イベント、作品鑑賞パスポートのPR
	2019年9月14日	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、イベントのPR
itsumo	2019年4月19日	6枠カラー／フロント面	作品鑑賞パスポート、フェリー3日間乗り放題乗船券
山陽新聞	2019年4月8日	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポートのPR
	2019年4月22日	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、公式ガイドブックのPR
	2019年4月25日	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、公式アプリのPR
	2019年7月18日	記事下全5段カラー	島めぐりの心得、イベント、作品鑑賞パスポートのPR
	2019年9月27日	全15段(1ページ)カラー	船の時刻表、作品鑑賞パスポート、イベントのPR
レディア	2019年4月11日	半4段カラー	作品鑑賞パスポートのPR

交通機関等

実施日	場所	内容
2019年2月-3月	東京モノレール	中吊ポスター展示、デジタルサイネージ放映
2019年4月1日-11月4日	高松空港	ポスター展示、パネル設置、柱巻き装飾
2019年4月-11月	JR岡山駅	地下道デジタルサイネージ、臨時案内所設置
2019年4月12日-10月30日	岡山電気軌道	車両ラッピング
2019年4月5日-11月4日	JR高松駅 ほか	懸垂幕掲示、ポスター展示、チラシ設置、切符封筒印刷
2019年2月5日、3月5日、4月2日	山陽新聞社本社ビル	山陽新聞カルチャープラザ特別講座『瀬戸内国際芸術祭2019に行こう!』
2019年4月12日-8月25日	国道30号線サンポート高松玉藻交差点～中新町交差点(中央通り)	バナーフラッグ掲示、懸垂幕掲示
2019年4月26日-11月4日	ことでんバス 車内	高松市内路線バスヘッドカバー掲示、チラシ設置(高松空港リムジンバス内)
2019年4月26日-11月4日	ことでん瓦町駅 ほか	ポスター掲出、チラシ設置
2019年7月6日-10日	羽田空港第2ターミナル出発ロビー	瀬戸内国際芸術祭2019パネル展
2019年4月26日-11月4日(各会期中)	NEXCO(西日本高速道路)中四国SA・PA	ポスター展示、チラシ配布
2019年10月-11月	全日空国内線・国際線機内	PR動画放映



羽田空港



高松空港



JR高松駅

14 視察の受入れ

■ 瀬戸内国際芸術祭の取組みについて、国内外の行政機関や団体等の参考にしてもらうため、視察の受入れを行った。

視察申込み数

(件)

区 分		2017年度	2018年度	2019年度	合 計
国 内	行政機関等※	5	10	20	35
	その他	4	1	9	14
国 外	行政機関等※	3	4	23	30
	その他	4	2	7	13
合 計		16	17	59	92

視察内容

レクチャー

(件)

区 分		2017年度	2018年度	2019年度	合 計
国 内	行政機関等※	2	9	12	23
	その他	1	-	6	7
国 外	行政機関等※	1	3	14	18
	その他	1	2	4	7
合 計		5	14	36	55

現地視察 (瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局員が視察者に随行したもの)

(件)

区 分		2017年度	2018年度	2019年度	合 計
国 内	行政機関等※	5	3	9	17
	その他	4	1	3	8
国 外	行政機関等※	2	1	11	14
	その他	3	-	5	8
合 計		14	5	28	47

※視察者に行政機関職員が含まれる場合は行政機関等の区分に含めている。

15 チケット、グッズ

1 | 作品鑑賞パスポート

- 瀬戸内国際芸術祭2019の会期中、芸術祭の参加作品(施設)を各1回鑑賞できる「作品鑑賞パスポート」を2018年11月8日から閉幕日まで販売した。
- 券種は、すべての会期で有効な「3シーズンパスポート」と春・夏・秋それぞれの会期のみ有効な「会期限定パスポート」とした。
- 総計100,985枚を販売したほか、香川県、岡山県の高校生等を対象に1,756枚を無料交付した。
- 今回本格的に導入したオンライン販売が全体の約28%を占め、初めて実施した海外代理店の販売は全体の約4%であった。

券種と価格

区 分		3シーズン	会期限定
一般(19歳以上)	前売	3,800円	-
	当日	4,800円	4,000円
ユース(16-18歳)		3,000円	2,500円
島 民		2,000円	-

※15歳以下無料(案内所等で「こどもパスポート」を配付)

販売実績(枚)

区 分		3シーズン	春	夏	秋	合 計
一般	前売	50,504	-	-	-	98,554
	当日	8,622	4,092	13,309	22,027	
ユース		132	88	252	283	755
島 民		1,676	-	-	-	1,676
合 計		60,934	4,180	13,561	22,310	100,985

2 | 公式グッズ

- 芸術祭の公式ロゴや今回のメインビジュアルのテーマである「海中の生物」をモチーフに公式グッズを制作し、高松港と直島の公式ショップ等で販売した。

アイテム一覧(販売数)

パスポートケース(18,651点)／缶バッジ全6種(7,491点)／ピンバッジ(4,497点)／ポストカード全24種(7,610点)／てぬぐい全4種(5,505点)／Tシャツ全5種(5,877点)／マスキングテープ全2種(4,706点)／トートバッグ(1,683点)／ボールペン全2種(655点)／色鉛筆(67点)／クリアホルダー全2種(11,579点)／クッキー(2,225点)／サコッシュ(夏会期～)(1,504点)／マグカップ(秋会期～)(496点)



16 地域への波及、連携

1 | 各会場での住民主体の活動等

直島

- ・演劇イベントをきっかけに直島の子ども達が島外の子ども達と交流を深め、イベント終了後も交流が続いている。
- ・瀬戸内国際芸術祭直島町実行委員会が中心となり、住民による会場周辺の清掃活動を実施した。
- ・来場者をお出迎え、お見送りするため、直島つつじ太鼓による演奏が行われた。
- ・直島町婦人会により港周辺に花が設置された。
- ・直島の町づくり団体「直島塾」により休憩場所として外ヶ浜オリーブ公園が整備された。

豊島

- ・会期前に、豊島中学校の生徒が島内清掃活動を行った。また、豊島観光協会と地域住民との協働により、豊島の中央にそびえる最高峰、檀山の清掃活動を定期的に行っている。
- ・豊島小中学校の生徒が家浦港でレインボードラム太鼓やソーラン節でのお出迎えを行った。
- ・作家と地域住民が夏会期に1日限定でスイカをふるまった。
- ・地域住民と（公財）福武財団との協働により、豊島の原風景である棚田の景観維持の活動に継続的に取り組んでいる。

女木島

- ・芸術祭会期中、女木地区コミュニティ協議会が運営する地域交流拠点の「女木の里」にて、えがおに市場（特産品の物販）を開く回数を通常より増やし島内の盛り上げに貢献した。
- ・女木地区コミュニティ協議会が「段々の風」の除草及び清掃作業を行った。
- ・11月2日（土）に「鬼の市とハイキング大会」が開催され、島内各団体他が鬼の市と称した出店で、女木島特産品のみかんや鬼の力汁を提供した。
- ・瀬戸内国際芸術祭2019開幕にあわせて、島外からの移住者がゲストハウスとカフェを開業した。

男木島

- ・男木島観光協会や東瀬戸漁業協同組合男木島女性部が中心となり、港で地元の食材を使った食の提供やお土産物の販売を行った。住民とコミュニケーションが取れる場として来場者から大変好評であった。
- ・島の行事では、移住して来た若い世帯や子どもたちが活躍しており、秋祭りには芸術祭の来場者も多く訪れた。
- ・芸術祭閉幕の日には、住民が自発的に紙テープを使ったフェリーの見送りを行った。住民、来場者、関係者が一体となったフィナーレを迎えることができた。
- ・2013年以降、移住者は50人を超え、ほとんどが定住している。子育て世帯が多く、2017年に3人、2018年に1人の子どもが生まれた。2019年度中にも、芸術祭で島に魅せられた方が移住する予定となっている。

小豆島

- ・竹を使った大型の作品(2作品)を、地元自治会やボランティアサポーターなどが毎回60名ほど参加し作家とともに制作した。
- ・作品展開するにあたり四海地区の住民が沖之島の草刈りやゴミ拾い等を行った。
- ・各作品エリアにおいて、地元の方が島の特産品である素麺や、地元産の食材を来場者にふるまった。

大島

- ・高松港と大島港を結ぶ航路が一般旅客定期航路化し、多くの人が島を訪れることができるようになった。
- ・社会交流会館が全面開館し、展示室では大島の歴史や資料が閲覧可能になった。入所者と来園者との交流や正しい知識の普及啓発の場としての活用が期待されている。

犬島

- ・「エントロピーの楽園-第2章-」では、滞在したアーティストと住民の交流が図られ、イベント本番で、住民がアーティストや参加者と「犬島音頭」を踊り、交流を楽しんだ。
- ・各会期のオープニングで、犬島婦人会により季節の食がふるまわれた。
- ・夏会期には宝伝地区の中学校からブラスバンドを招き、歓迎の演奏を実施した。

沙弥島

- ・与島地区5島で実施した「そらあみツアー」で、住民が先生、参加者が生徒として作品制作を行い、延べ254名の手で作品を編み上げた。
- ・会期前にクリーン作戦を実施し、約300名のボランティアにより島内清掃を行った。
- ・会期中、与島地区5島の各島を代表する島メシを販売し、多くの来場者と交流し、島の魅力を再認識した。
- ・坂出市内の親子で結成された「坂出親子おてつ隊」によるお接待茶屋と島内ガイドが好評だった。

本島

- ・「そらあみワークショップ」は塩飽諸島の有人島すべてが参加し、島を超えての交流を持った。
- ・会期前に、住民とスタッフ100名以上が参加し、一斉清掃を行った。
- ・港では、太鼓や笛の演奏と旗振り、にぎやかな送り出しを行い、フェリーが見えなくなるまで来場者を見送った。

高見島

- ・「そらあみワークショップ」では、作品制作に高見島と佐柳島からも参加し、芸術祭をより身近に感じる交流の場となった。
- ・主に島出身者で結成されたボランティア団体の高見島応援団「さざえ隊」が、日頃から島内の花壇づくりや通路の草刈りなど島内整備を行い、来島者を迎える準備を整えた。
- ・「さざえ隊」は島歩きガイドや休憩所の設営を行い、土日祝日には郷土料理の茶がゆを来場者にふるまって交流した。
- ・港では船便に合わせて住民やスタッフが一丸となり、来島者の見送りや出迎えのため、のぼり旗や手を振った。

粟島

- ・「そらあみワークショップ」では、作品制作に粟島と志々島からも参加し、芸術祭をより身近に感じる交流の場となった。
- ・島の活性化を目的に発足した「粟島ぼ〜い&が〜るの会」が、会期中は毎日、来場者に作品紹介を行い、作品の素晴らしさを引き立てた。また、島内の公衆トイレを毎日清掃し、環境美化にも取り組んだ。
- ・三豊市内NPO法人が来場者に島や地域の魅力を伝えようと、島内ガイドツアー「子どもガイド」を実施し、来場者と島との懸け橋として活動を展開した。
- ・港では紙テープと鐘による見送りを行って芸術祭を盛り上げた。

伊吹島

- ・観音寺港と伊吹真浦港で、「全力見送り隊」として、住民や各団体、スタッフが一体となって大漁旗や瀬戸芸フラッグを振り、来場者を見送った。
- ・秋会期を前に地元住民や企業、ボランティア団体による一斉清掃を行い、来場者を迎える準備を整えた。
- ・伊吹島実行委員会が、イリコ庵において無料のお茶会を開催した。
- ・芸術祭を機に、82歳の住民が簡易宿泊施設をオープンした。

高松港周辺

- ・屋島山上では、地元観光協会やボランティア団体による協力のもと、作品制作が行われた。会期中は作品制作に携わった方が会場を訪れ、来場者と交流した。
- ・サンポート周辺及び北浜エリアでは、「瀬戸内国際芸術祭2019おもてなしクリーン作戦」が開催され、地域住民や企業、学生らが清掃活動を行い、来場者を迎える準備を整えた。
- ・四国民家博物館（四国村）では、公式イベント当日の運営に地元自治会の積極的な参加があり、来場者の受け入れ体制をサポートした。

宇野港周辺

- ・宇野港のオープニングイベントで、市内小学生や高校生がピアニストと音楽のアトラクションを行い、作品リニューアルの際は作家と地元住民が交流した。
- ・地元の自治会や団体が自主的に宇野港周辺の清掃活動を実施した。
- ・たまのチューデントガイドやたまの観光ボランティアガイド「つつじの会」が英語で港周辺を案内した。
- ・移住者が増加しており、新しいゲストハウスや飲食店などの増加傾向も続いている。



作品の協働制作（小豆島） Photo:Shintaro Miyawaki



住民やスタッフによる清掃活動（本島）



来場者の見送り（伊吹島） Photo:Shintaro Miyawaki

地元住民などによる食の提供

■ 地元の自治会等を中心に郷土料理や瀬戸内の食材を生かした食の提供やお接待が行われ、来場者との心温まる交流が生まれた。

会場	提供場所	主な料理
豊島	島キッチン	島キッチンセット、島野菜添えキーマカレーセット
	豊島鮮魚	焼魚定食、煮魚定食、お弁当
男木島	男木港周辺	たこめしなど
小豆島	福田アジア食堂	アジア定食、福田定食
	島の家こうのうら	そうめん、自家製の麦茶
	草壁港お接待小屋	そうめん、ところてん、いもようかん、甘夏ゼリー
	大部公民館(駐車場)	郷土料理石きり寿司
	おきしまや!	沖之島バーガー、ハモカツ
瀬戸一食堂	島鱧定食、小豆島ぶっかけそうめん	
犬島	犬島おかあさんの元気市	ばら寿司やコロッケ、採れたての野菜
沙弥島	西ノ浜の家	トラフグ弁当、ワカメうどん、おでん
	沙弥島特設テント	チヌ飯、タコ飯、鯛めし、鯛ソーメン
	ナカンダ浜	抹茶(落雁菓子)
本島	<本島×タイ> 島内飲食協力店(9店)	香草カレー、タピオカマンゴー、ドックラムデュアンクッキー、ローゼルソーダ、パタフライピージュースなど各店ごとに数品提供
	島娘	島娘弁当、鯛カツ丼、たこ飯
高見島	ミハルカス瀬戸(中塚邸)	郷土料理茶粥
粟島	須田港周辺(須田港マルシェ、三豊鶴)	郷土料理復活弁当など
伊吹島	うららの台所	うららの伊吹島弁当、いりこ飯、釜揚げイリコの天ぷらなど
宇野港	たまの「たまべん」	EAT&ART TARO監修の「島ピクルス」を添えた手づくりのお弁当



うららの台所



沙弥島特設テント



草壁港お接待小屋

2 | 島間交流事業実績

※15ページ参照

実施日	訪問先	内 容	参加者数
2017年10月28日	大島	イベント参加、島内ガイド、交流会	29
2017年11月3日	豊島	イベント参加、島内ガイド、交流会	24
2017年11月19日	小豆島	イベント参加、島内ガイド、交流会	25
2018年9月9日	豊島	イベント参加、島内ガイド、交流会	9
2018年10月5日	大島	イベント参加、島内ガイド、交流会	23
2019年7月27日	男木島	島内ガイド、地元の取組み紹介、交流会	26

3 | 学校連携事業実績

※15ページ参照

瀬戸内国際芸術祭実行委員会実施事業

実施日	内 容	参加者数
2019年9月22日	小豆島内の高校を対象に英語による作品ガイドの学習、アートツアーを実施	10 1校1-3年

高校生のための瀬戸内アートサマープログラム(香川県教育委員会生涯学習・文化財課との連携)

実施日	内 容	参加者数
2018年8月20日-21日	「島を元気にする方法」をテーマとした課題解決型のプログラムを実施(講演、アートツアー、討論等)	94 10校1-3年
2019年7月14日、8月25日	島々の魅力を活かした企画や課題解決に取り組むプログラムを実施(講演、フィールドワーク※、プレゼン等) ※フィールドワークは7月25日から8月24日(8月10日から8月18日は除く)のうち、任意の日に参加者が各自で実施	107 11校1-3年

香川版スーパーグローバルハイスクール事業(香川県立丸亀高等学校との連携)

実施日	内 容	参加者数
2018年7月4日、7月31日、10月31日、12月12日	地方創生をメインテーマとし、「瀬戸内国際芸術祭」をサブテーマとする課題研究を実施(講義、フィールドワーク等)	38 1校1年生
2019年8月17日、10月13日	高校2年生4名による課題研究の実施(事前調査、高見島アートツアー)	5家族11名

香川県立小豆島中央高等学校との連携

実施日	内 容	参加者数
2018年11月16日-17日	観光ガイド及び瀬戸内国際芸術祭の学習、土庄港における英語による観光ガイドの実践	19 小学生~高校生
2019年10月18日-19日	瀬戸内国際芸術祭の学習、草壁港における英語による作品や観光ガイドの実践	4 1校1・2年生

4 | 県内連携事業

香川県内の市町や団体等が実施する文化芸術を主体としたアートイベントや県内市町が推薦する地元の観光スポットなど89件(箇所)を「県内連携事業」に位置づけ、香川県主催で来場者を対象にビンゴラリーを実施した。

地域別県内連携事業数

広域2件、高松市内20件、丸亀市内7件、坂出市内5件、善通寺市内7件、
観音寺市内4件、さぬき市内5件、東かがわ市内7件、三豊市内5件、
土庄町内4件、小豆島町内4件、三木町内3件、直島町内2件、
宇多津町内1件、綾川町内3件、琴平町内4件、多度津町内3件、
まんのう町内3件 計89件

5 | 広域連携事業

それぞれの認知度の向上や来場者数の増加などの相乗効果を発揮させるため、香川県外において実施される規模の大きい国際文化芸術イベント等と相互連携を行った。

連携した事業

第28回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)(2019年9月29日-11月24日)

岡山芸術交流2019(2019年9月27日-11月24日)

あいちトリエンナーレ2019(2019年8月1日-10月14日)

Reborn-Art Festival 2019(2019年8月3日-9月29日)

三陸防災復興プロジェクト2019(2019年6月1日-8月7日)

せとうち美術館ネットワーク

瀬戸内国際芸術祭2019公式ガイドブックや公式ウェブサイトに連携先の事業を掲載するとともに、高松港総合案内所をはじめ、各島の案内所でチラシ等の配布を行い、連携先の事業の紹介を行った。また、連携先においては、ガイドブック等への掲載や会場でのパンフレットの配布などにより瀬戸内国際芸術祭2019を紹介してもらうなど、主に広報による連携を行った。

国内で最も伝統のある現代日本彫刻展を開催している宇部市とは、連携協定を締結し、第27回UBEビエンナーレにおいて大賞を受賞したキム・キョンミン氏を、瀬戸内国際芸術祭2019の参加作家として招待し、小豆島土庄港において作品の展示を行った。

17 来場者アンケート

■ 会期中に実施したアンケート調査に基づく来場者の傾向は、次のとおりである。

実施概要

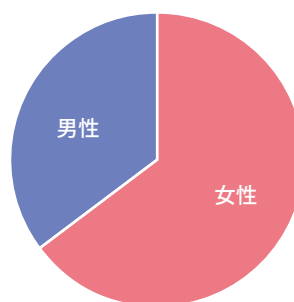
- ・各会場の港において、乗船待ちの来場者を対象にアンケート用紙を配付、回収した。
- ・春会期中は5月4日及び5月15日-21日の計8日間、夏会期中は8月1日-7日及び8月16日の計8日間、秋会期中は10月5日-11日及び10月14日の計8日間実施した。また、会期中、試験的にオンラインによるアンケートも実施した。
- ・回答総数は6,857。なお、無回答・不明の回答は集計から除いている。

1 | 来場者の属性

- 女性が64.9%、男性が約35.1%となっている。
- 「ひとりで来た」が18.4%、「友人と来た」が39.5%、「家族と来た」が37.8%であった。
- 20代が最も多く24.1%、次いで30代の23.6%、40代・50代がそれぞれ16.2%となっている。

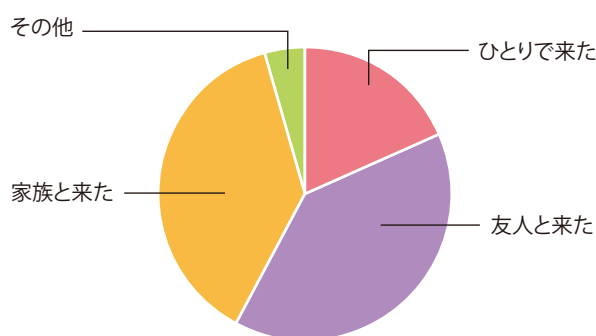
性別

性別	回答数	割合 (前回割合)
女性	4,419	64.9% (67.2%)
男性	2,387	35.1% (32.8%)
合計	6,806	100.0% (100.0%)



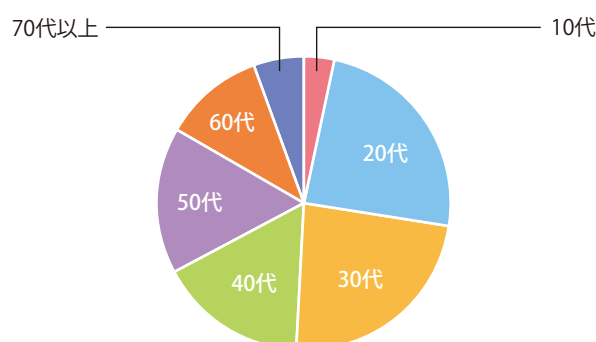
グループ関係

回答	回答数	割合 (前回割合)
ひとりで来た	1,234	18.4% (17.5%)
友人と来た	2,655	39.5% (40.1%)
家族と来た	2,544	37.8% (34.5%)
その他	289	4.3% (7.9%)
合計	6,722	100.0% (100.0%)



年齢

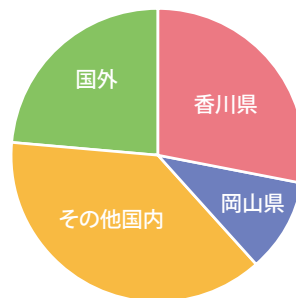
年齢	回答数	割合 (前回割合)
10代	214	3.4% (5.9%)
20代	1,519	24.1% (24.7%)
30代	1,485	23.6% (24.1%)
40代	1,018	16.2% (18.1%)
50代	1,018	16.2% (13.5%)
60代	689	11.0% (10.1%)
70代以上	347	5.5% (3.6%)
合計	6,290	100.0% (100.0%)



- 居住地は、香川・岡山両県が38.6%、両県以外の国内が37.8%、国外が23.6%であった。
- 国内来場者の地域別では、四国地方が42.1%、次いで中国地方が17.6%、近畿地方が16.7%、関東地方が15.7%となっている。
- 国外は、台湾、中国、香港が多く、国外来場者の約7割を占めている。
- 過去の芸術祭にも来場した、いわゆるリピーターは、40.5%であった。

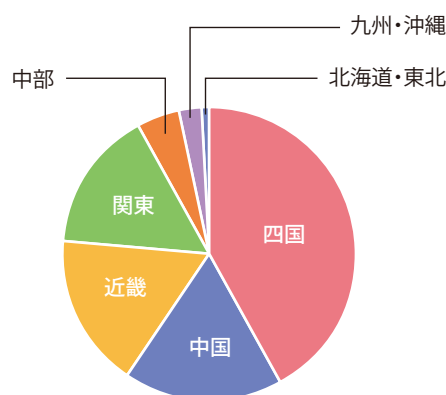
来場者居住地

居住地	回答数	割合(前回割合)
香川県	1,913	28.1% (30.9%)
岡山県	718	10.5% (9.8%)
その他国内	2,578	37.8% (45.9%)
国外	1,606	23.6% (13.4%)
合計	6,815	100.0%(100.0%)



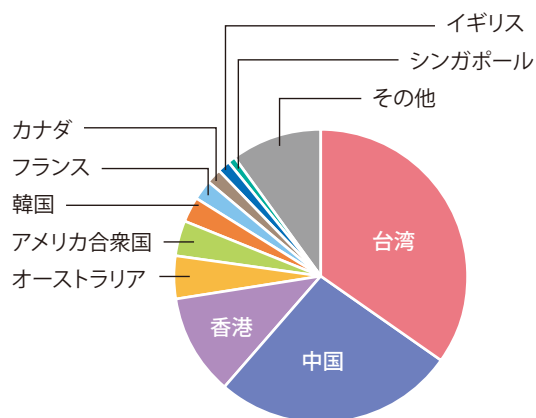
国内来場者居住地

地方名	回答数	割合(前回割合)
四国	2,192	42.1% (41.4%)
中国	915	17.6% (14.7%)
近畿	868	16.7% (17.0%)
関東	820	15.7% (18.3%)
中部	242	4.6% (5.4%)
九州・沖縄	131	2.5% (2.1%)
北海道・東北	41	0.8% (1.1%)
合計	5,209	100.0%(100.0%)



国外来場者居住地

順位	国/地域名	回答数	割合(前回順位)
1	台湾	561	34.9% (1)
2	中国	428	26.7% (3)
3	香港	177	11.0% (2)
4	オーストラリア	75	4.7% (6)
5	アメリカ合衆国	65	4.0% (5)
6	韓国	45	2.8% (8)
7	フランス	36	2.2% (4)
8	カナダ	27	1.7% (12)
9	イギリス	19	1.2% (7)
10	シンガポール	16	1.0% (15)
—	その他	157	9.8% (—)
合計		1,606	100.0%



過去の芸術祭への来場の有無

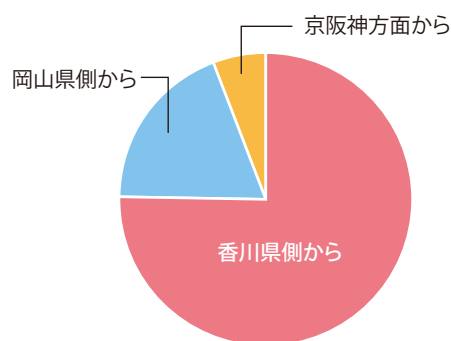
回答	回答数	割合(前回割合)
あり	2,777	40.5% (40.9%)
なし(無回答含む)	4,080	59.5% (59.1%)
合計	6,857	100.0% (100.0%)

2 | 会場の島への入島経路

■ 会場の島へ渡る際、香川県側から渡った人が75.4%、岡山県側からが18.8%、京阪神方面からが5.8%となっている。

会場の島へ渡る際、どちら側から渡ったか

回答	回答数	割合
香川県側から	4,674	75.4%
岡山県側から	1,168	18.8%
京阪神方面から	362	5.8%
合計	6,204	100.0%



※前回と質問項目を変更しているため、前回割合なし。

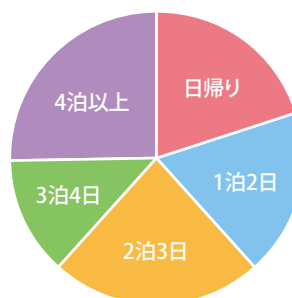
3 | 来場者の滞在状況

■ 香川・岡山県以外からの来場者の平均滞在日数は3.05日（芸術祭2016：2.72日）であり、宿泊者の平均宿泊数は2.56泊（芸術祭2016：2.36泊）であった。

■ 香川・岡山県以外からの来場者の宿泊地は、高松市内が54.1%、次いで小豆島が15.5%、直島が12.2%となっている。

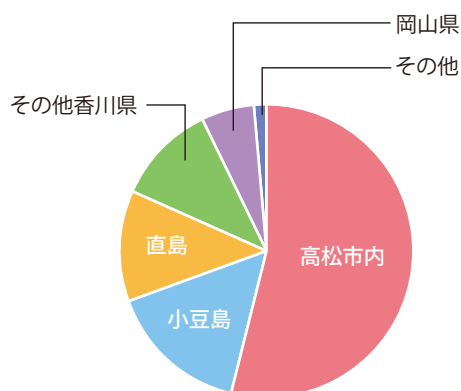
香川県、岡山県以外からの来場者の滞在（宿泊）日数

日数	回答数	割合（前回割合）
日帰り	797	20.0%（26.8%）
1泊2日	735	18.4%（22.7%）
2泊3日	935	23.5%（25.6%）
3泊4日	516	12.9%（12.3%）
4泊以上	1,005	25.2%（12.6%）
合計	3,988	100.0%（100.0%）



香川県・岡山県以外からの来場者の宿泊地（複数回答あり）

宿泊地	回答数	割合（前回割合）
高松市内	2,429	54.1%（40.4%）
小豆島	696	15.5%（18.4%）
直島	547	12.2%（17.9%）
その他香川県	493	11.0%（14.1%）
岡山県	268	6.0%（6.0%）
その他	55	1.2%（3.2%）
合計	4,488	100.0%（100.0%）

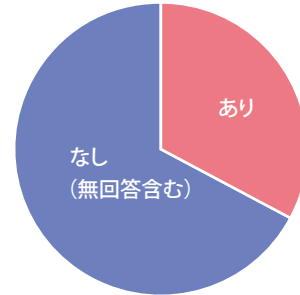


4 | 香川県の他の観光地への訪問の有無

■ 約3人に1人が香川県内の芸術祭以外の観光地を訪問している。

香川県の他の観光地への訪問の有無

回答	回答数	割合(前回割合)
あり	2,258	32.9% (51.2%)
なし(無回答含む)	4,599	67.1% (48.8%)
合計	6,857	100.0% (100.0%)

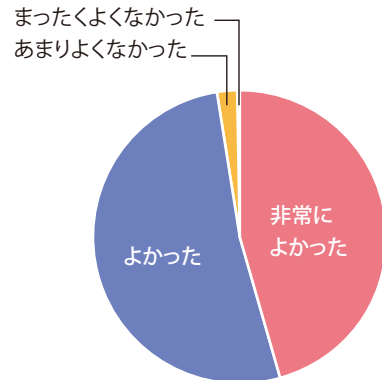


5 | 芸術祭に対する評価

■ 97.5%が「非常によかった」「よかった」と評価している。

芸術祭に対する評価

回答	回答数	割合(前回割合)
非常によかった	2,782	45.7% (55.4%)
よかった	3,153	51.8% (39.9%)
あまりよくなかった	140	2.3% (0.8%)
まったくよくなかった	14	0.2% (0.1%)
合計	6,089	100.0% (96.2%)

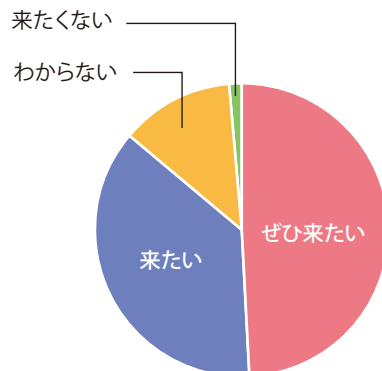


※前回選択肢から「どちらでもない」を除いたため、前回割合は100%とならない。

■ 次回芸術祭が開催された場合、86.3%が「ぜひ来たい」「来たい」と回答している。

次回開催されたらまた来たいか

回答	回答数	割合(前回割合)
ぜひ来たい	3,047	49.4% (51.0%)
来たい	2,277	36.9% (30.5%)
わからない	765	12.4% (15.2%)
来たくない	80	1.3% (1.0%)
合計	6,169	100.0% (97.7%)



※前回選択肢から「多分もう来ない」を除いたため、前回割合は100%とならない。

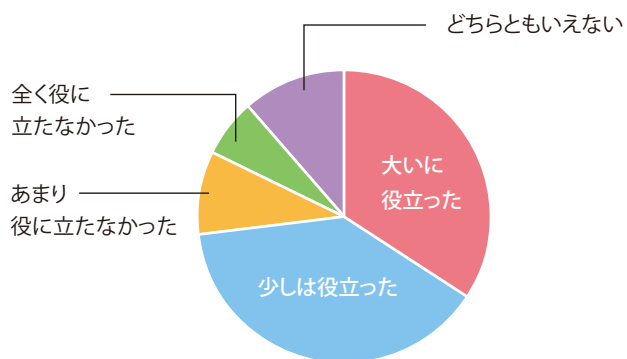
18 地域住民の評価

1 | 住民アンケート

- 芸術祭終了後、作品展示エリア地域の住民を対象にアンケート調査を実施し、1,445名から回答があった。
- 芸術祭2019が地域の活性化に「大いに役立った」、「少しは役立った」と回答した住民は73.4%であった。

Q 芸術祭2019は、地域活性化に役立ったと思いますか

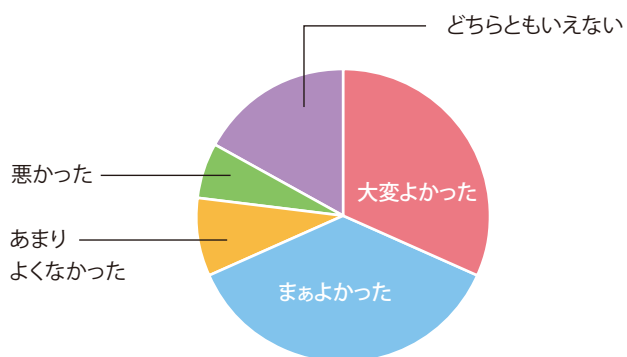
回答	回答数	割合 (前回割合)
大いに役立った	487	34.4% (24.5%)
少しは役立った	552	39.0% (47.6%)
あまり役に立たなかった	130	9.2% (13.4%)
全く役に立たなかった	90	6.3% (6.7%)
どちらともいえない	158	11.1% (7.8%)
合計	1,417	100.0% (100.0%)



- 自分が住む地域に芸術祭の作品が設置されたことについて、「大変よかった」、「まあよかった」と回答した住民は68.4%であった。

Q お住まいの地域に作品が設置されたことはよかったとお考えですか

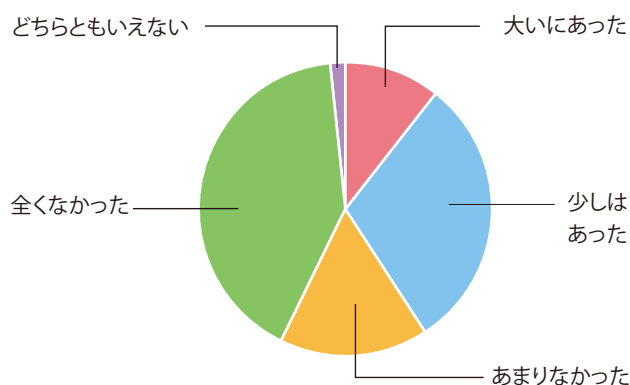
回答	回答数	割合 (前回割合)
大変よかった	449	31.8% (26.9%)
まあよかった	517	36.6% (42.6%)
あまりよくなかった	123	8.7% (9.8%)
悪かった	84	6.0% (5.5%)
どちらともいえない	238	16.9% (15.2%)
合計	1,411	100.0% (100.0%)



- 作家や来場者との交流が「大いにあった」、「少しはあった」と回答した住民は41.0%であった。

Q 作家や来場者との交流の機会はありましたか

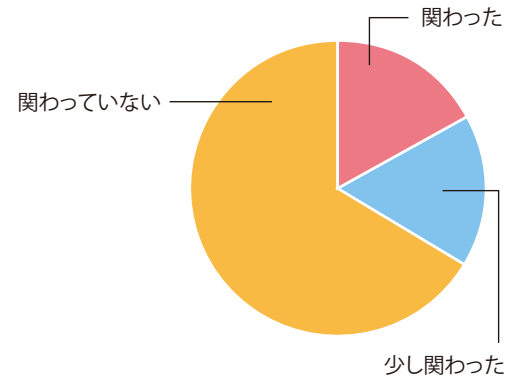
回答	回答数	割合 (前回割合)
大いにあった	153	10.8% (15.5%)
少しはあった	429	30.2% (33.7%)
あまりなかった	232	16.3% (18.3%)
全くなかった	583	41.1% (31.3%)
どちらともいえない	23	1.6% (1.2%)
合計	1,420	100.0% (100.0%)



■ 作品受付やボランティアなどに「関わった」、「少し関わった」と回答した住民が33.8%であった。

**Q 作品受付ボランティア、来場者の見送り、食事の提供など
芸術祭に関わりましたか**

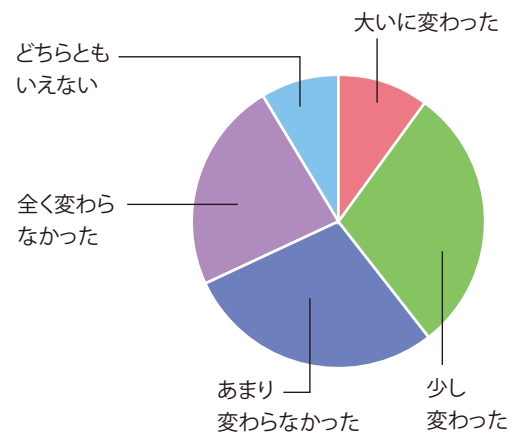
回 答	回答数	割 合 (前回割合)
関わった	238	17.2% (24.6%)
少し関わった	231	16.6% (21.1%)
関わっていない	919	66.2% (54.3%)
合 計	1,388	100.0% (100.0%)



■ 芸術祭を通じて自分が住む地域の見方が「大いに変わった」、「少し変わった」と回答した住民が39.6%であった。

**Q 芸術祭2019を通じてお住まいの地域に対する思いや見方は
変わりましたか**

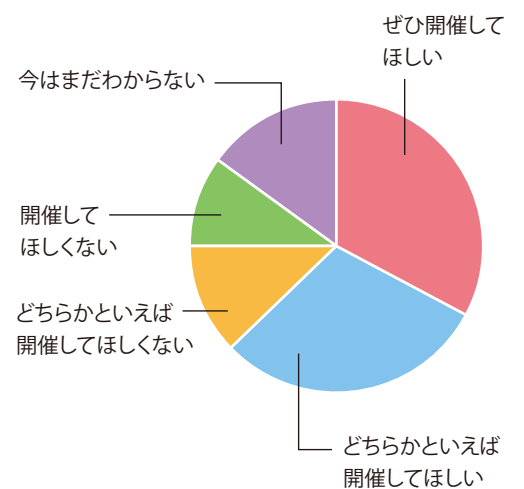
回 答	回答数	割 合 (前回割合)
大いに変わった	141	10.2% (10.6%)
少し変わった	406	29.4% (34.4%)
あまり変わらなかった	396	28.7% (27.5%)
全く変わらなかった	318	23.1% (17.3%)
どちらともいえない	119	8.6% (10.2%)
合 計	1,380	100.0% (100.0%)



■ 次回芸術祭を「ぜひ開催してほしい」「どちらかといえば開催してほしい」と回答した住民が62.9%であった。

Q 次回、また芸術祭を開催してほしいですか

回 答	回答数	割 合 (前回割合)
ぜひ開催してほしい	457	32.8% (29.2%)
どちらかといえば開催してほしい	419	30.1% (35.8%)
どちらかといえば開催してほしくない	170	12.2% (10.9%)
開催してほしくない	139	10.0% (8.3%)
今はまだわからない	208	14.9% (15.8%)
合 計	1,393	100.0% (100.0%)



■ 芸術祭閉幕後、会場となった地域の自治会役員や関係者等との意見交換会を開催した。主な意見は次のとおり。

直 島

- ・演劇イベントに子どもが参加したが、演劇や島外の参加者との交流等、日常では体験できないことができてよかった。「直島に来て良かった」と言う県外参加者のお母さんもいた。3年後も参加したい。
- ・地中美術館の予約制は混雑解消につながりよかった。
- ・直島のバスは臨時便を運行しているので、安心感があった。
- ・外国から多くの来場者があるため、台風や地震など緊急時の対応を来場者の身になって考えてほしい。
- ・繁忙期は非常に混雑するため、来場者の状況を把握し、関係者で連携しながら的確に情報を出してほしい。

豊 島

- ・豊島の来場者数は前回より減っているが、活気が出て全体的に見ると成功だった。
- ・バスの積み残しが出ているのは対策を考える必要がある。特に夏場は暑くなるので待ち時間を減らせるような工夫が必要である。
- ・大きな事故はなく無事に終わってよかったが、事故自体はなくなったわけではないので今後も対策を考えてほしい。
- ・ポイ捨てなどゴミの問題が出てきているので次回は対策を考えてほしい。
- ・豊島の南側(甲生から唐櫃の間)から見る景観は素晴らしいので、たくさんの人に見てもらえるような工夫をしてほしい。

女木島

- ・島をPRできたことが一番良かった。東京のテレビでも放映されていたことは大きい。
- ・浜辺に設置されているやじろべえの作品は非常に良かった。女木島の自然の中に作品があると良い。
- ・愛知芸大は住民との関わりがあったが、それ以外の作品ではあまり関わりがなかった。
- ・外国人観光客が大幅に増えた。マナーも良く、ごみ問題もなかったが、言語の問題など、外国人観光客により充実した対応できるよう対策を取ってほしい。

男木島

- ・こえび隊・実行委員会が地域に入って、細やかな運営ができていた。
- ・民家に迷い込んだり、被写体として意図して足を踏み入れたりする来場者がいた。また、道いっぱいに広がり、住民がバイク等で通ろうとしても道を空けないケースが多かった。
- ・ごみを島に残す人がいる。
- ・作品の開館時間や会期を理解していない来場者が多い。島で配布する地図に情報を入れるべき。
- ・来場者数が島の受入能力の限界に近づきつつある。満足度を下げないためにも適切な人数設定を行い、ある程度のコントロールが必要ではないか。
- ・次の会期に向けて、会期外こそ時間をかけて芸術祭と地域との関係作りをしていきたい。

小豆島(土庄町)

- 作品だけでなく地元の観光名所にも立ち寄ってもらえる方が非常に多くてよかった。
- イベント公演で地元の話を書いた演劇を行ってもらって、地域住民は喜んでた。
- 小豆島から沖ノ島へ渡る為の「渡船」が、島外の方から大変好評でありよかった。普段できない体験をしてもらって楽しんでもらえるのはうれしい事である。
- レンタサイクルが増えたので自転車で移動している人が増えたが、来場者の自転車交通マナーが悪かった。
- 四海、北浦、大部地区の小豆島北部地域は交通の便が悪いため、何らかの対応が必要である。

小豆島(小豆島町)

- 作品やお接待を通じた来場者との交流が地域活性化につながった。
- 若い世代も協力してくれて、幅広い年齢層で一緒におもてなしできて良かった。地域内での交流もでき、地域の絆が深まった。
- 船と島内バスとの連絡が課題となっている。
- 小豆島はただでさえ広い中、作品が散らばると来場者の負担になる。周遊性を高める必要がある。

大 島

- 作品開館などでは、トラブルがなく良かった。
- 入所者が利用する船便が満席のとき、普段座る2階席ではなく1階席の利用となり、階段の昇降が大変だった。
- 作品エリア外の立入制限の表示について、大島を広く伝えたいという観点もあるので制限しづらい面もあるが、今後の検討課題だと思う。
- 秋会期は人が多くなった。野菜や盆栽の手入れは皆がない時にやった。
- キャッシュレス決済の需要は他島でもあると思う。導入検討してはどうか。

犬 島

- 宝伝にはバス用の駐車場が無い為、事情を知らない旅行会社のバスが奥まで入って来て立往生していることがあった。
- 特に海外の団体客が、道いっばいに広がって歩くなど、マナーの悪さが目についた。
- 宝伝港でも犬島内でもタバコのポイ捨てはなく、ゴミもほとんど落ちていなかった。
- 遠いところからお金をかけて犬島に来てくれる来場者は本当にありがたい。来場者が嫌な思いをしないように受入態勢をしっかりと整えてほしい。

沙弥島

- ・「坂出親子おてつ隊」によって、校区を越えた活動ができるのは良い経験になる。沙弥島の良い環境でお接待の経験ができて、子ども達にとって良いことだった。
- ・「思い出は心に、ゴミは袋に」キャンペーンでは、来場者とコミュニケーションが取れて良かった。
- ・回を重ねるごとに、与島地区5島を知ってもらい、来場者に喜んでもらえるようになっている。これからも、世界中の人に与島地区5島を知ってもらいたい。
- ・素晴らしい芸術祭となった。これからも日本中、世界中の人たちが坂出に来てもらえるような芸術祭にしていきたい。

本島

- ・外国人来島者が増加し、コミュニケーションに困ったことが少しあった。
- ・シャトルバスが島内循環出来るように樹木伐採・路肩整備等をしたことや、作品周辺の雑草や害虫の駆除を行ったことにより、事故等がなくて良かった。
- ・「島娘」を会期中休むことなく営業できたことに満足している。
- ・来場者のマナーはよかったと思う。ゴミなども問題がなかった。
- ・「送り太鼓」に住民が参加することにより一体感が醸成されたし、本島といえば「送り太鼓」という代名詞にもなった。
- ・若者やお年寄り、子どもたちも前回以上に関わってくれたので、次回も開催してほしい。
- ・秋会期期間中が盛り上がるだけではなく、会期以外の時にもイベントを開催したい。

高見島

- ・今回、新規作品が多く、作品の設置場所も前回なかったエリアに設置したことで、来場者のみならず住民からも大変好評であった。また、多くの作家に作品説明のため来島していただき、来場者や住民ともに満足いく時間を過ごすことができた。
- ・地元の高校生や中学生が休憩所の手伝いとして関わっていたことは、来場者から好印象であっただけでなく、生徒も学びながら芸術祭や高見島の魅力を体感することができる貴重な場となった。
- ・住民やスタッフが一丸となり、港でのぼりを振ってフェリーを見送った姿に来場者から感動したという意見が多かった。
- ・今回、島内でのイベント開催がなかったため、次回は来島者や住民が参加できるイベントを開催することで来場者数の向上を図っていく必要がある。

粟島

- ・今回の芸術祭のおかげで島が元気になった。
- ・島内交通としてグリーンスローモビリティは大変良かった。
- ・全島共通の休みがあるとありがたい。
- ・会期序盤は暑く、粟島芸術家村内で無料のお接待をしたが大変喜んでもらった。
- ・来場者のマナーは良く、ごみもほとんど見かけなかった。
- ・和式トイレしかないため外国人来場者は困っているように感じた。
- ・翻訳機や外国語の販促物がもう少しあったらよかった。
- ・地元中学生により、粟島の獅子舞を復活させた。このことで教育効果もあり、あまり喋らなかつた子が喋るようになった。これからも持続させ、運動会等で披露する場を作りたい。

伊吹島

- ・ 島のお母さんたちが主体で販売したお弁当が非常に好評だった。島内でのネットワークもでき、一体感が生まれた。
- ・ 島の人も飲食店やイリコの直売所を出し、積極的に芸術祭に参加してくれていた。
- ・ 伊吹島の秋祭り重なっていたので、「ちょうさ」を多くの人に見てもらえてよかった。
- ・ 作品制作を早めに取り掛かってほしい。作品制作が早まれば、手伝うこともできる。
- ・ 取材もあったが、芸術祭の後半に偏っていた。前半にテレビ等の報道があれば、来場者数も増えたのではないかな。
- ・ 芸術祭が終われば、島が静かになる。会期終了後も何かイベントができればと思う。

宇野港(玉野市)

- ・ 外国人来場者の数は会期中も会期外も多いが、会期中は日本人の来場者が増えた。また、2016に比べ、港周辺に宿泊施設が増えたからか、夜に外国人が歩いている様子を良く見た。港周辺がにぎわってきたのではないかな。
- ・ 真庭のシシの展示やきらぼし★アート展、岡山芸術交流等、岡山県内で連携を取ることで盛り上がりにつながったのではないかな。
- ・ 宇野港は、有料受付作品がなかったため、地元住民との関わりが少なかった。
- ・ 今回宇野港でお弁当を作ったが、地元の事業者さんや生産者さんの協力のもとお弁当を作り上げることができ、良い経験になった。

19 芸術祭開催による効果

1 | 経済波及効果

日本銀行高松支店と瀬戸内国際芸術祭実行委員会が共同で、平成23年香川県産業連関表を用いて推計した香川県内における経済波及効果は180億円であった。

経済波及効果	直接効果	1次波及効果	2次波及効果
180億円	112億円	37億円	31億円
うち 春会期 52億円 夏会期 50億円 秋会期 77億円	うち 春会期 33億円 夏会期 31億円 秋会期 48億円	うち 春会期 11億円 夏会期 10億円 秋会期 16億円	うち 春会期 9億円 夏会期 9億円 秋会期 13億円

直接効果	芸術祭の来場者による県内消費金額等から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れる部分を控除したもの
1次波及効果	直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額
2次波及効果	直接効果及び1次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額
前提条件	瀬戸内国際芸術祭実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や各会場へ向かう航路の乗船人数等を踏まえ、試算上の人員を31.5万人として推計

2 | その他地域経済への効果等

観光庁(四国運輸局)によると、2019年1月から10月までの香川県内の延べ宿泊者数は前年比109.4%となり、うち10月は前年比116.9%と全国2位の伸びであった。

また、2019年1月から10月までの香川県内の外国人延べ宿泊者数は前年比132.1%となり、うち10月は前年比173.6%と全国1位の伸びで、高松空港への直行便が就航していない国からの延べ宿泊者数も伸びている。

旅行予約サービス「楽天トラベル」によると、2019年の国内旅行先の人気上昇エリアランキングにおいて、香川県は秋が1位(前年比145.9%)、通年では2位(同112.2%)となっており、その要因として瀬戸内国際芸術祭の開催が挙げられている。

香川県が公表している県内の主要観光地(栗林公園、屋島、琴平、小豆島)の2019年4月から10月までの入込客数は302万1千人で前年比120%となっている。(芸術祭2016 前年比 102%)

また、四国運輸局が公表している四国の主要観光地入込状況のうち、香川県内15施設の入込状況は、2019年4月から9月までの上半期において283万人で前年比108.8%となっており(芸術祭2016 前年比 99.6%)、瀬戸内国際芸術祭の開催が増加要因として挙げられているほか、日本銀行高松支店が公表している「香川県金融経済概況」においても、「主要観光地の入込客数は、増加した(9月、12月)」との記述がみられる。

香川県が実施した2019年7月1日時点の地価調査で、会場の1つである直島町の住宅地の対前年平均変動率が1.4%と県内市町で最も大きく上昇した(上昇は2年連続)。瀬戸内国際芸術祭の主要会場としての注目度が影響しているとみられる。

四国運輸局の調べでは、芸術祭会期中の会場である島々への航路利用者が前年比155%となった。方面別では、いずれも前年比で、直島方面が130%、豊島・犬島方面が232%、女木島・男木島・大島方面が379%、小豆島方面が119%となったほか、秋会期開催の本島・高見島・粟島方面は641%、伊吹島方面は430%であった。

高松空港の2019年4月から10月までの利用実績は、前年比106.8%であった。特に3月31日から10月26日まで増便によりデイリー運航された高松-台北線の利用実績は前年比112.3%であり、芸術祭の会期の中心となる5月、8月及び10月の3カ月では前年比125.7%であった。

※高松空港株式会社が毎月発表している「高松空港旅客輸送実績」より実行委員会事務局で集計。

会期中に新設したバス停「芸術祭総合案内所前」まで延伸した高松空港リムジンバス(ことでんバス株式会社)は、2019年4月から10月まで売上げが前年比112%となっている。

開幕前から、米紙ニューヨークタイムズや英誌National Geographic Travellerなど欧米メディア※のオンラインサイトなどで、2019年の旅行目的の一つとして瀬戸内国際芸術祭2019が取り上げられた。また、世界1位のシェアを誇る旅行ガイドブックLonely Planetのウェブサイトで2019年7月に発表された「BEST IN ASIA PACIFIC」において、直島などの島々を巡る瀬戸内国際芸術祭の開催などを理由に、四国が日本で唯一、2位に選ばれた。

※欧米メディアに対しては、せとうちDMOがPR活動を行っている。

世界大手の旅行予約サイト ブッキングドットコム(オランダ)が2019年10月に発表した「2020年に訪れるべき目的地10選」で、高松市が国内の都市で唯一選ばれた。また、世界中で利用されている旅行比較サイト スカイスキャナー(イギリス)が同年12月に発表した「アジア太平洋地域の2020年の旅行トレンド」では、注目すべき新興目的地のTOP10に、日本で唯一、高松市が選ばれた。

アジアの都市の模範となる優れた成果を上げたとして「アジア都市景観賞」を2018年7月に受賞したほか、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に実施されている「グッドデザイン賞」を2018年10月に受賞した。

Yahoo!JAPANサイト内で、1月1日から11月1日までの間で、前年度から検索数が最も急上昇した人物・プロダクト・カルチャーを今年の顔として表彰する「Yahoo!検索大賞2019」のローカルカテゴリー「香川県部門賞」及び「岡山県部門賞」に「瀬戸内国際芸術祭2019」が選ばれた。

四国新聞紙上に掲出した広告に対して同社から優秀賞を受賞した。また、四国新聞の読者が投票で選ぶ「2019年県内10大ニュース」の1位に「瀬戸内国際芸術祭2019」が選ばれた。(2019年12月24日付け四国新聞記事)

20 芸術祭2019の収支状況(3ヵ年)

収 入

(単位:百万円)

区 分	2017年度	2018年度	2019年度(見込み)	計(見込み)
負担金	24	297	297	618
香川県	10	95	95	200
関係市町	14	107	107	228
福武財団	0	95	95	190
補助金・助成金	30	41	122	193
寄付金・協賛金	4	144	56	204
チケット・グッズ等販売	1	39	248	288
その他	1	3	12	16
小計	60	524	735	1,319
前年度繰越金	-	22	370	-
収入計	60	546	1,105	①1,319

支 出

(単位:百万円)

区 分	2017年度	2018年度	2019年度(見込み)	計(見込み)
アートプロジェクト費	18	75	609	702
作品制作・イベント費等	18	72	585	675
式典等開催費	0	3	24	27
運営活動費	20	91	360	471
広報活動費	12	72	98	182
交通対策費	0	0	21	21
会場等運営費	3	10	230	243
事務局運営費	5	9	11	25
チケット・グッズ関係費	0	10	42	52
支出計	38	176	1,011	②1,225

収支差額

(単位:百万円)

収 入 ①	1,319
支 出 ②	1,225
収支差額(①-②)	94

(参考:芸術祭2016)

収 入	1,346
支 出	1,231
収支差額	115

SETOUCHI
TRIENNALE
2019

| 総括報告 | 瀬戸内国際芸術祭実行委員会 | 2020年2月 |